

(参考資料1)

古賀市
まちづくりに関する市民アンケート

報告書

令和2年3月
古賀市 経営企画課

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象・方法	1
(3) 調査期間	1
(4) サンプル数	1
(5) 集計分析上の留意点	1
2. アンケート結果	2
(1) 回答者の属性	2
(2) 古賀市での暮らし・まちづくりについて.....	15
【参考】 アンケート調査表	57

1. 調査概要

(1) 調査目的

古賀市では、「第2期古賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年度～）」並びに「第5次古賀市総合計画（令和4年度～）」を策定するにあたり、古賀市での暮らしやまちづくりの現状・課題を幅広く抽出するために市民アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象・方法

市民アンケート	18歳以上の市民の中から、3,000人を無作為に抽出し、アンケート調査票の郵送配布・郵送回収により実施
---------	---

(3) 調査期間

調査期間	令和元年10月4日～10月18日
------	------------------

(4) サンプル数

配布数	3,000
回答数	1,120（郵便：1,050 web：70）
回収率	37.3%

(5) 集計分析上の留意点

報告書内の図表等においては、調査の全体サンプル数を「N」、限定質問および属性別のサンプル数を「n」で表記した。

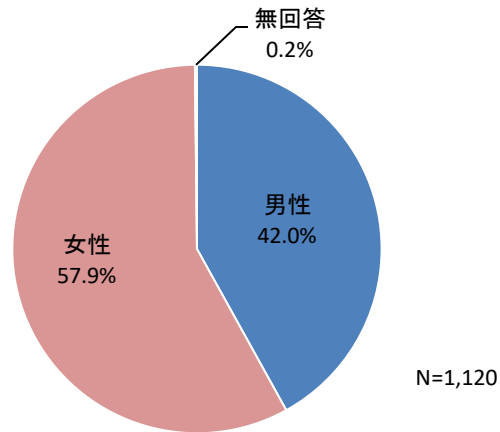
図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答(2つ以上の選択肢を回答)では合計が100%を超える場合がある。

2. アンケート結果

(1) 回答者の属性

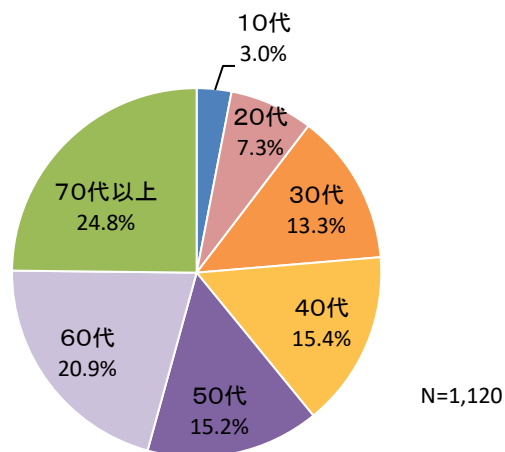
【性別】

性別は、女性が約6割、男性が約4割と女性の回答者の方が多い。



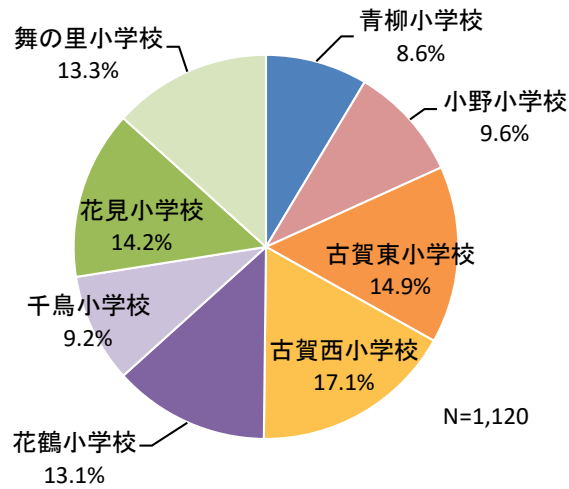
【年齢】

年齢は、「70代」と回答した人が24.8%と最も多く、次いで「60代」の20.9%となっており、60歳以上の回答者が約5割を占めている。



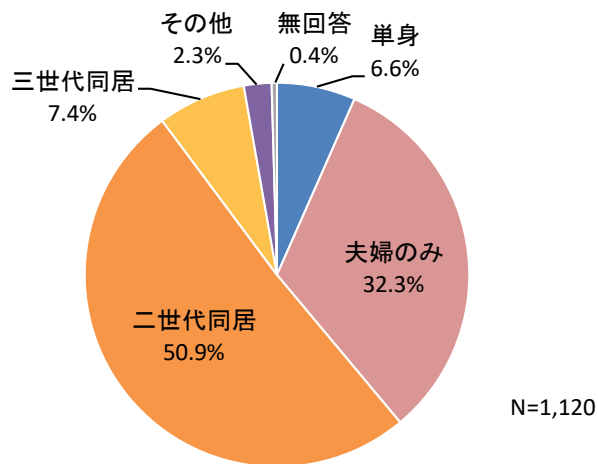
【住まいの小学校区】

住まいの小学校区は、「古賀西小学校」と回答した人が 17.1%と最も多く、次いで「古賀東小学校」が 14.9%、「舞の里小学校」が 13.3%となっている。



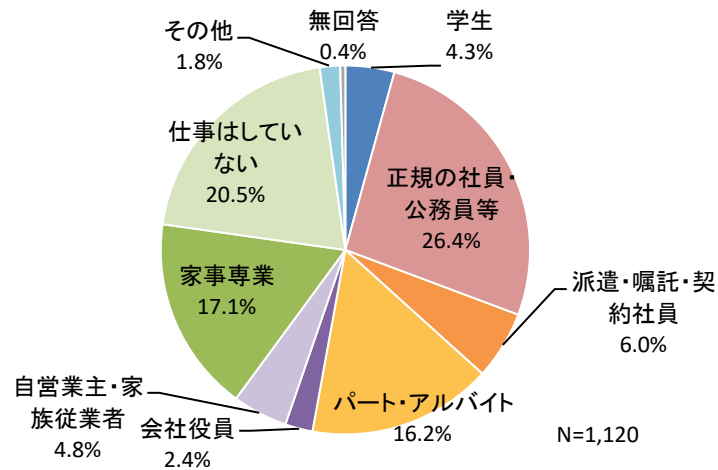
【家族構成】

家族構成は、「二世帯同居」と回答した人が 50.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 32.3%となっている。



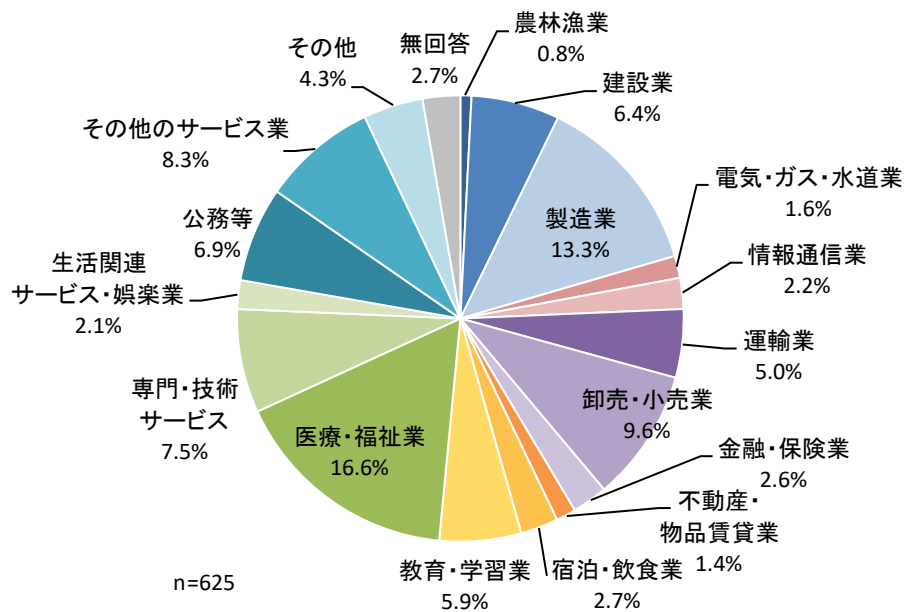
【職業】

職業は、「正規の社員・公務員等」と回答した人が26.4%と最も多く、次いで「仕事はしていない」が20.5%、「家事専業」が17.1%となっている。



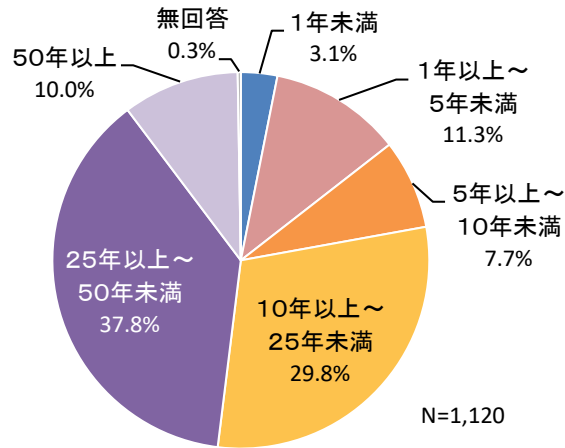
【勤め先の業種】

勤め先の業種は、「医療・福祉業」回答した人が16.6%と最も多く、次いで「製造業」が13.3%、「卸売・小売業」が9.6%となっている。



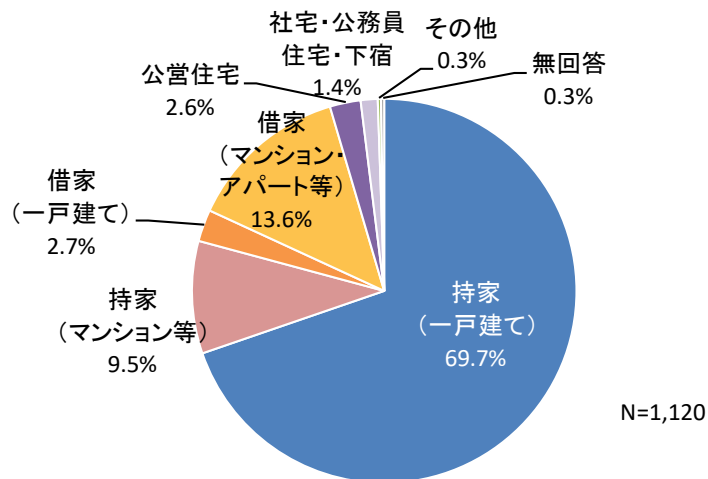
【古賀市での居住年数】

古賀市での居住年数は、「25年以上～50年未満」と回答した人が37.8%と最も多く、次いで「10年以上25年未満」が29.8%となっている。



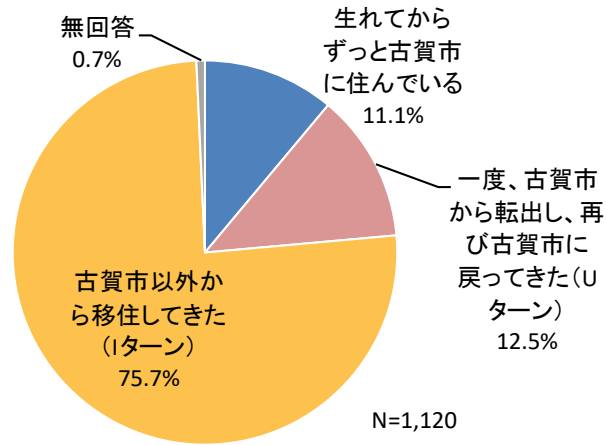
【居住形態】

居住形態は、「持家（一戸建て）」と回答した人が69.7%と最も多く、次いで「借家（マンション・アパート等）」が13.6%、「持家（マンション等）」が9.5%となっている。



【移住の有無】

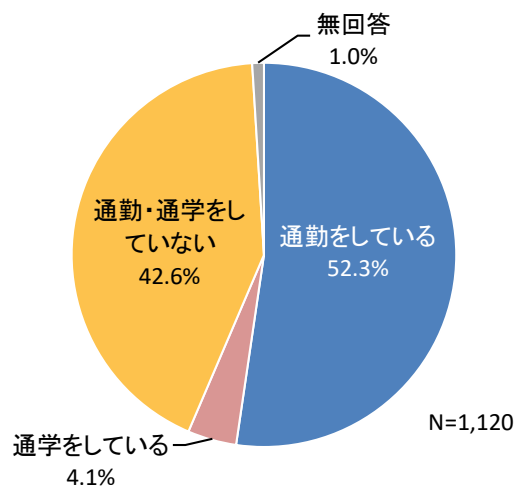
移住の有無は、「古賀市以外から移住してきた（Iターン）」と回答した人が75.7%と最も多く、次いで「一度、古賀市から転出し、再び古賀市に戻ってきた（Uターン）」が12.5%となっている。



【通勤・通学】

■通勤・通学の有無

通勤・通学の有無をみると、「通勤をしている」と回答した人が52.3%と最も多く、次いで「通勤・通学をしていない」が42.6%となっている。

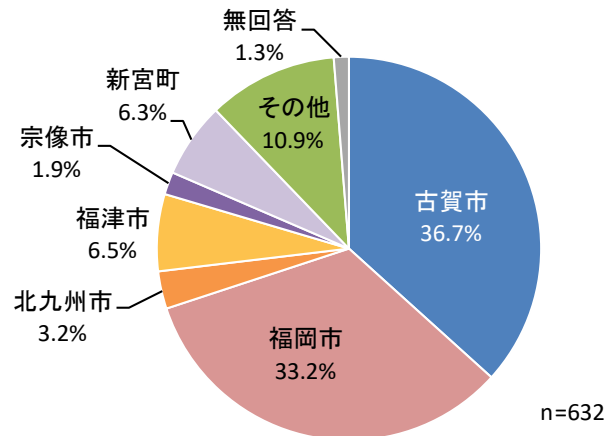


■通勤・通学先

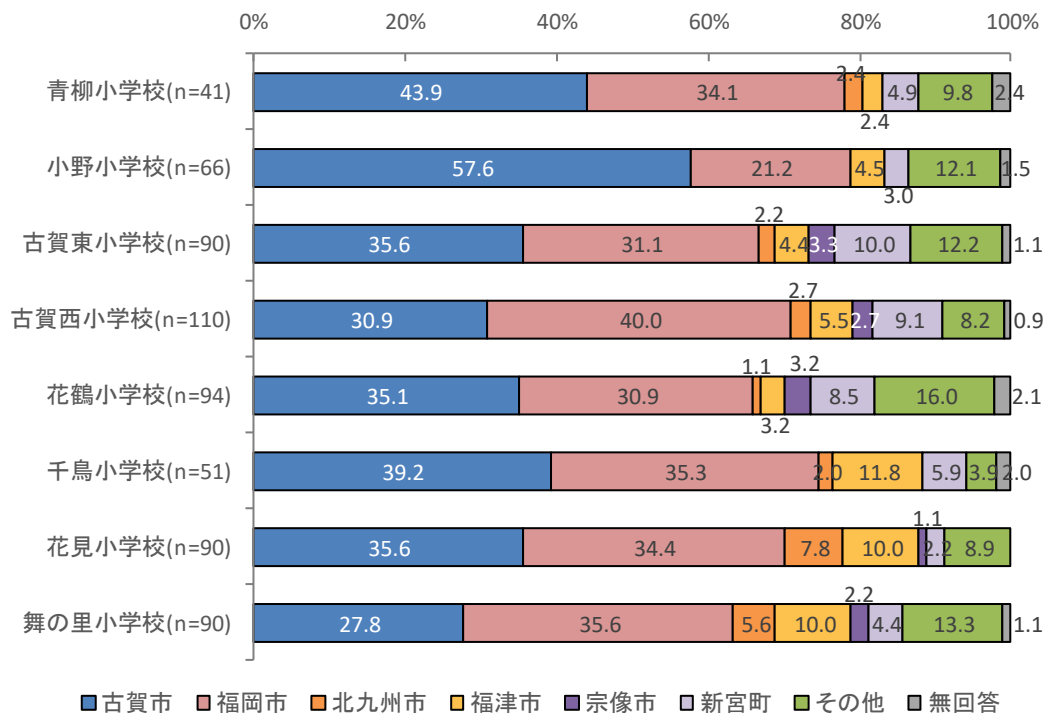
通勤・通学先は、「古賀市」と回答した人が 36.7%と最も多く、ついで「福岡市」が 33.2%と、古賀市と福岡市で約 7 割を占める。

校区別にみると、「古賀市」と回答した人が最も多いのは小野小学校区（57.6%）で、最も少ないのは舞の里小学校区（27.8%）となっている。

【全体】



【校区別】

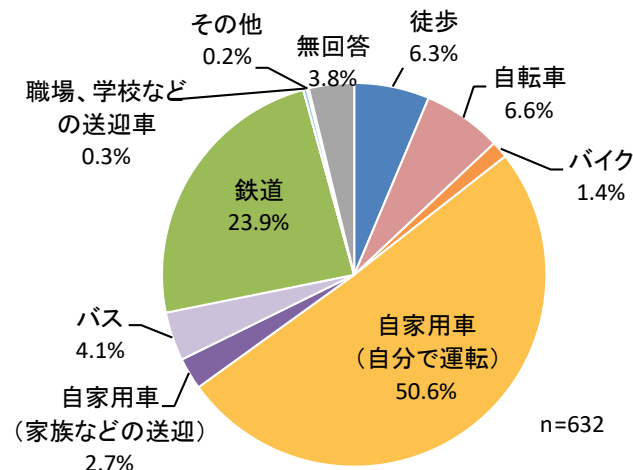


■通勤・通学の交通手段

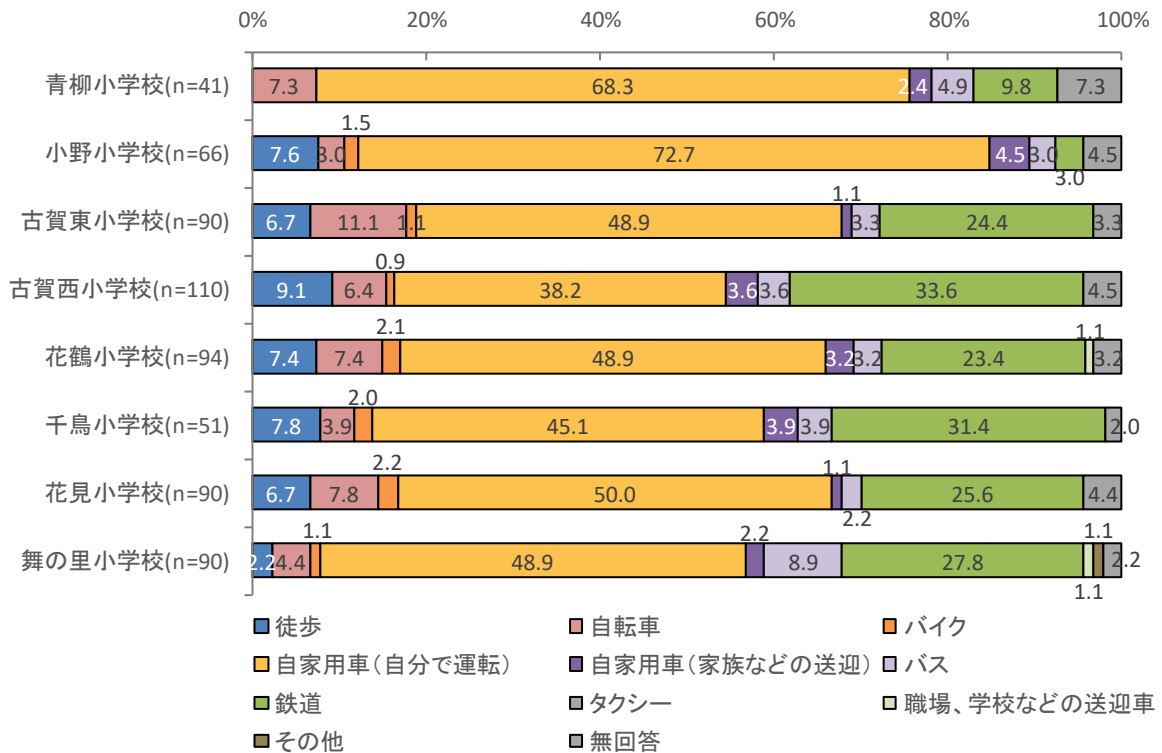
通勤・通学の交通手段は、「自家用車（自分で運転）」と回答した人が 50.6%と最も多く、ついで「鉄道」が 23.9%となっている。

校区別にみると、「自家用車」の割合は、小野小学校区（72.7%）、青柳小学校区（68.3%）が他の校区と比較して大きい一方、古賀西小学校区は 38.2%と少なく、他と比較して「徒歩」（9.1%）や「鉄道」（33.6%）の割合が大きい。

【全体】



【校区別】



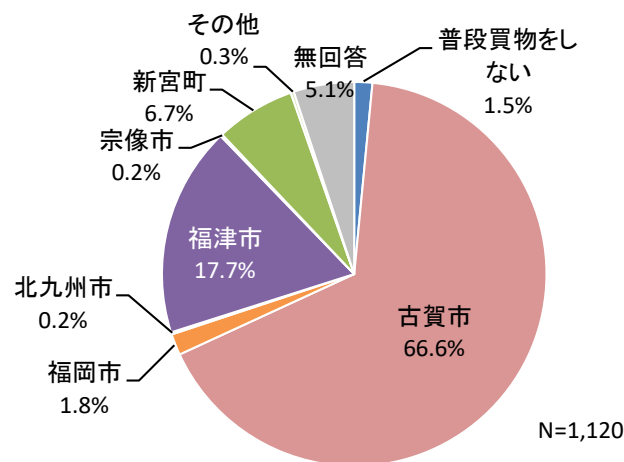
【買い物先】

■日用品や食料品等の主な買い物先

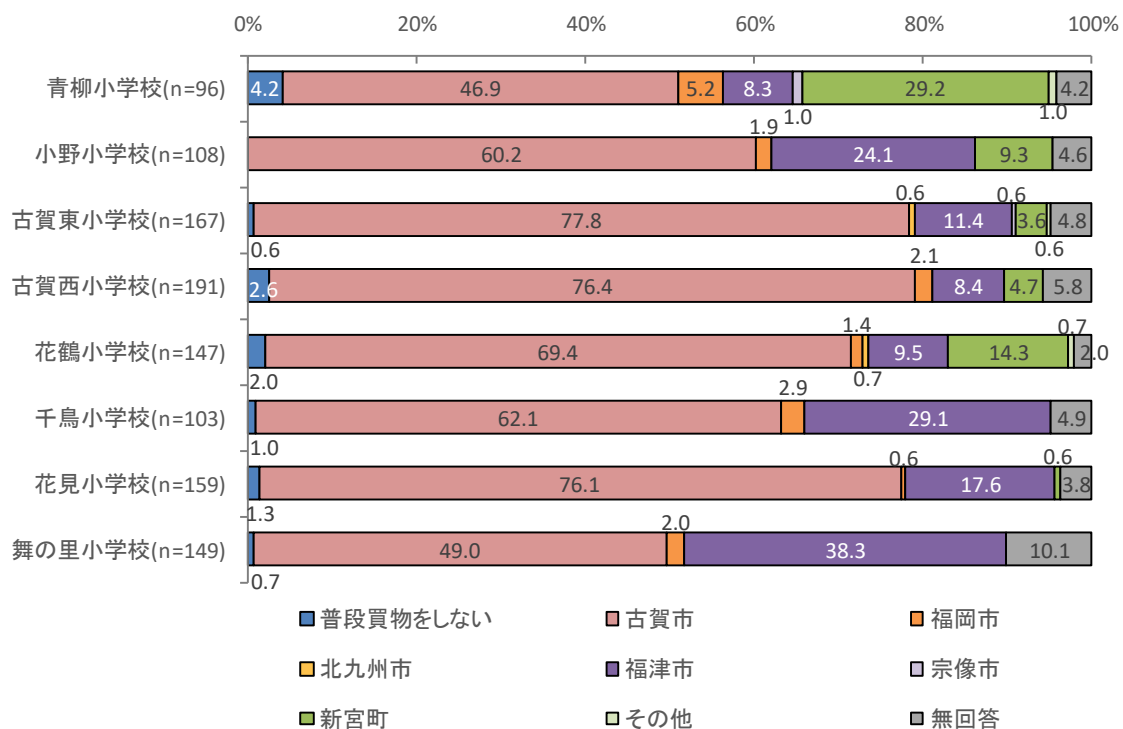
日用品や食料品の主な買い物先は、「古賀市」と回答した人が66.6%と最も多く、次いで「福津市」が17.7%となっている。

校区別にみると、古賀東小学校区（77.8%）、古賀西小学校区（76.4%）、花見小学校区（76.1%）では、「古賀市」の割合が約8割と他の地域よりも大きい一方、千鳥小学校区（29.1%）、舞の里小学校区（38.3%）では、他と比較して「福津市」の割合が大きい。また、青柳小学校区では29.2%と「新宮町」の割合が大きくなっている。

【全体】



【校区別】

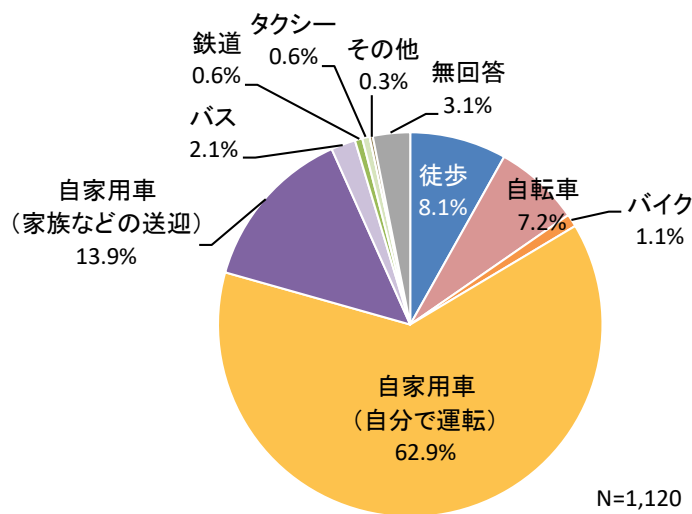


■日用品や食料品等の主な買い物の交通手段

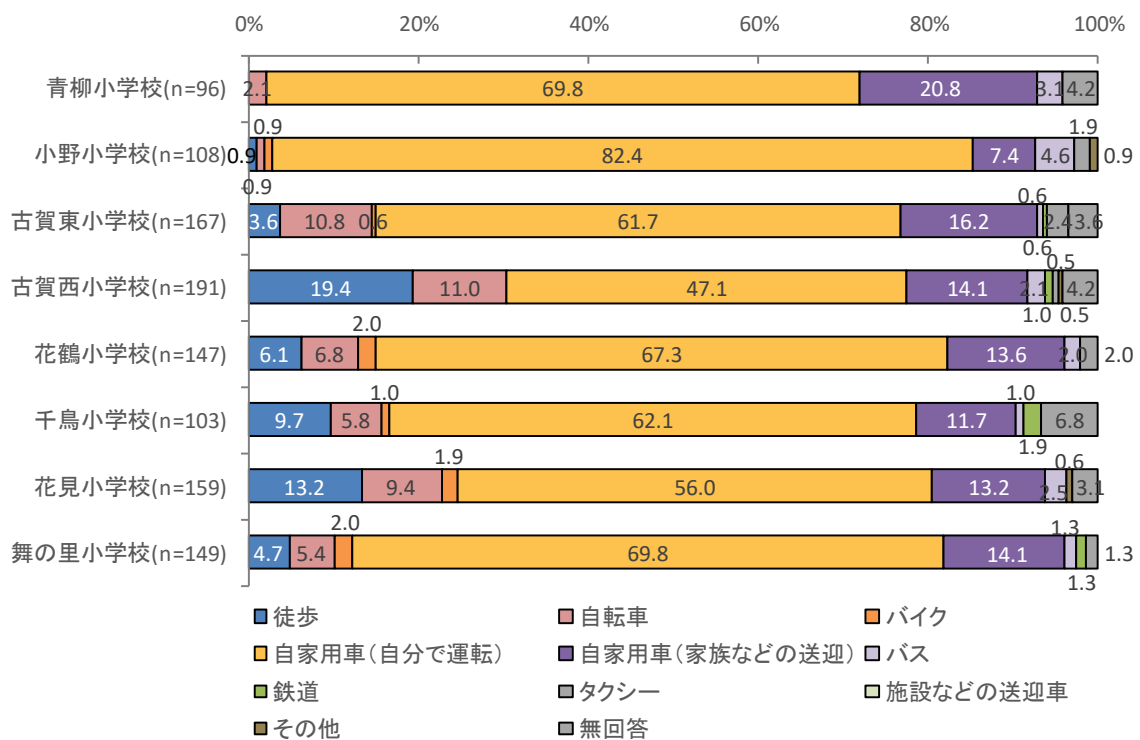
日用品や食料品の主な買い物の交通手段は、「自家用車（自分で運転）」と回答した人が 62.9%と最も多く、次いで「自家用車（家族等の送迎）」が 13.9%となっている。

校区別にみると、自分で運転、家族などの送迎を合わせた「自家用車」は、青柳小学校区（90.6%）、小野小学校区（89.8%）で約 9 割を占めている。一方、古賀西小学校区では「徒歩」が 19.4%と他と比較して大きい。

【全体】



【校区別】

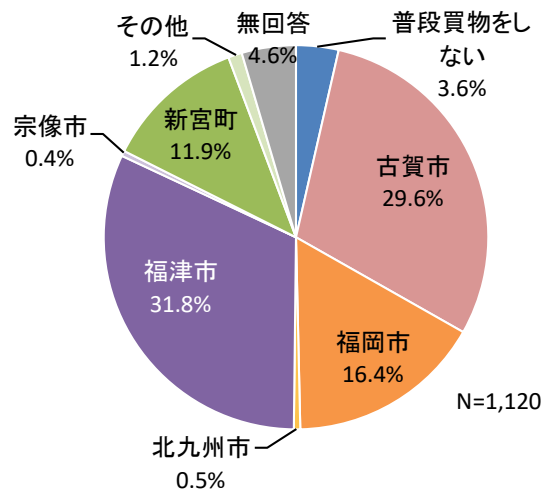


■衣料品や家電等の主な買い物先

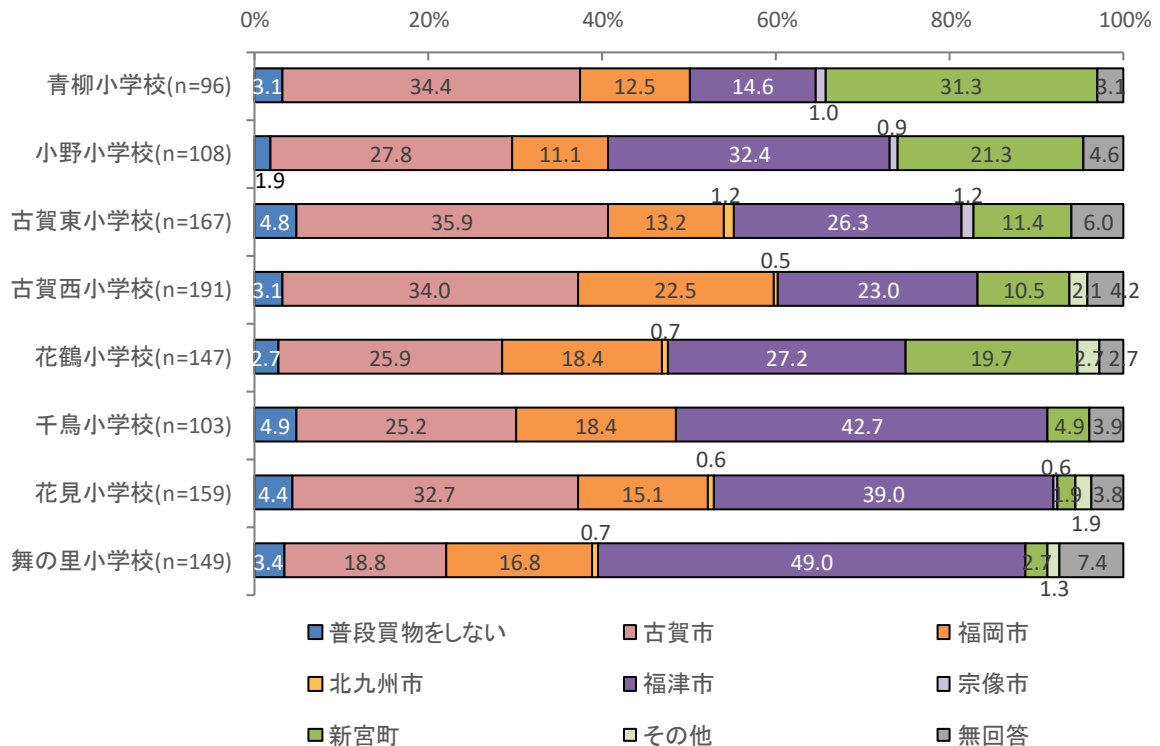
衣料品や家電等の主な買い物先は、「福津市」と回答した人が31.8%と最も多く、次いで「古賀市」が29.6%、「福岡市」が16.4%となっている。

校区別にみると、千鳥小学校区（42.7%）、花見小学校区（39.0%）、舞の里小学校区（49.0%）では、「福津市」の割合が他の地域よりも大きい。また、青柳小学校区では31.3%と「新宮町」の割合が大きくなっている。

【全体】



【校区別】

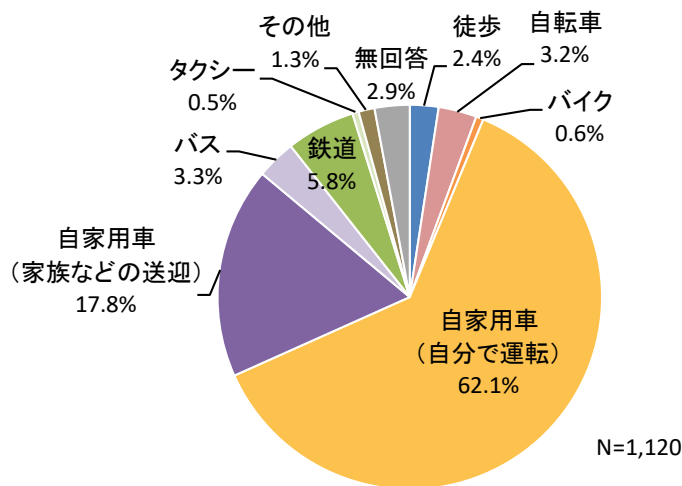


■衣料品や家電の主な買い物の交通手段

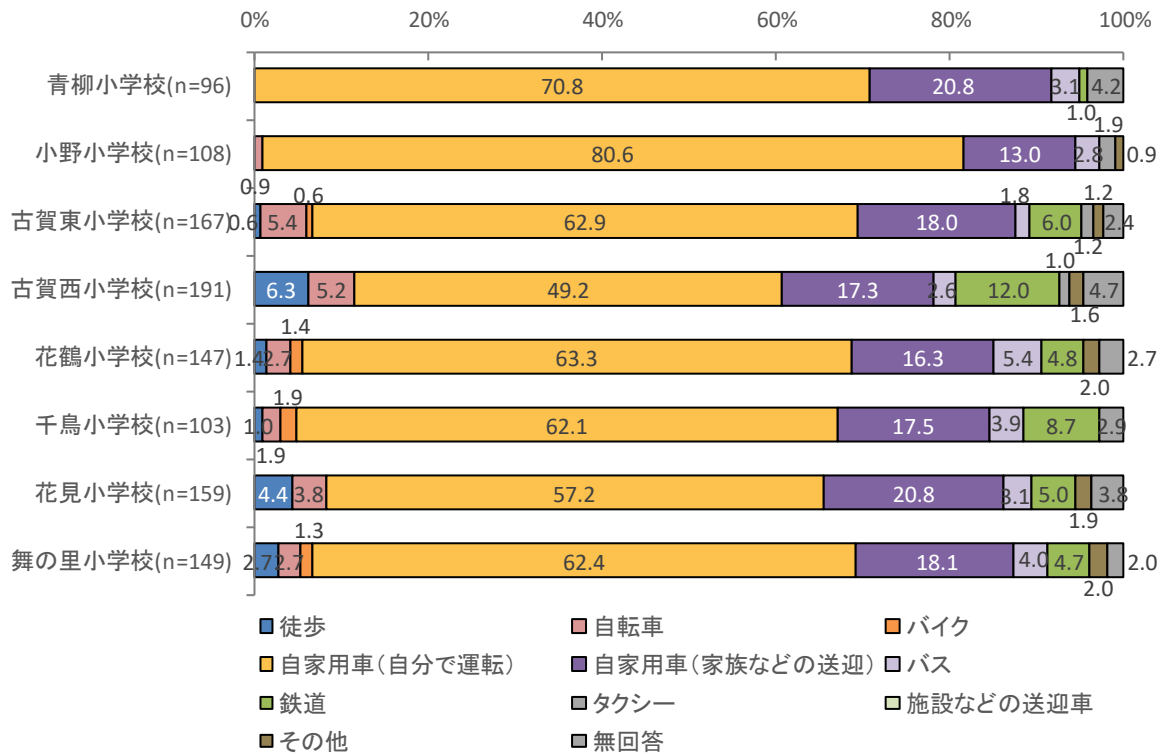
衣料品や家電等の主な買い物の交通手段は、「自家用車（自分で運転）」と回答した人が 62.1%と最も多く、次いで「自家用車（家族などの送迎）」が 17.8%となっている。

校区別にみると、自分で運転、家族などの送迎を合わせた「自家用車」は、青柳小学校区（91.6%）、小野小学校区（93.6%）で約9割を占めている。一方、古賀西小学校区では「徒歩」（19.4%）や、鉄道（12.0%）が他と比較して大きい。

【全体】



【校区別】



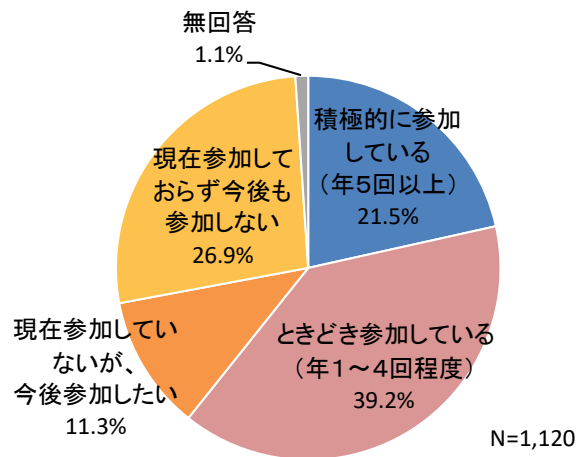
【地域活動】

■地域活動への参加状況

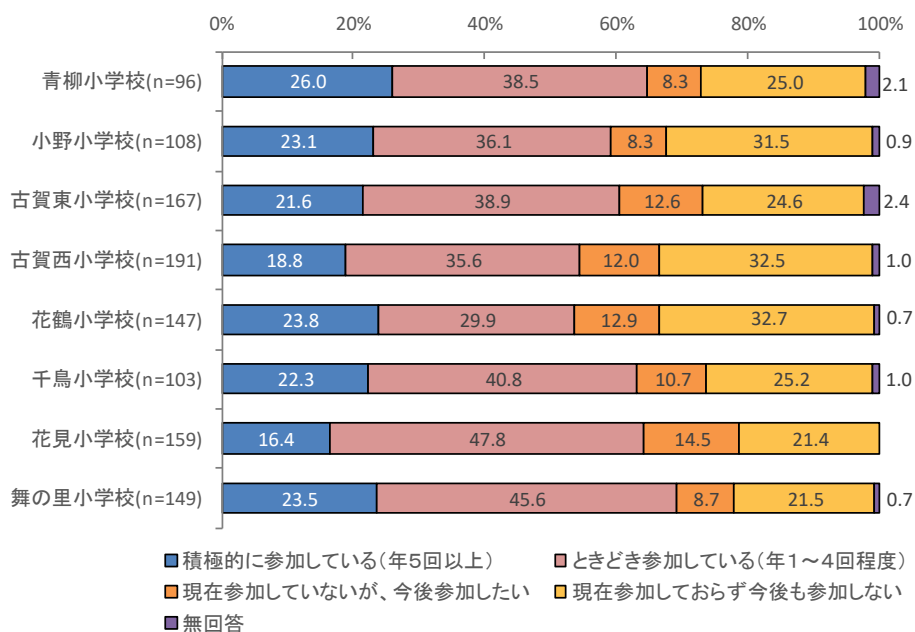
自治会、子ども会、清掃、夜間パトロール等の地域活動への参加状況は、「ときどき参加している（年1～4回程度）」が39.2%と最も多く、次いで「現在参加しておらず今後も参加しない」が26.9%、「積極的に参加している（年5回以上）」が21.5%となっている。

校区別にみると、「積極的に参加している」「ときどき参加している」を併せた、何らか地域活動に参加している人は、舞の里小学校区が69.1%と最も多く、次いで青柳小学校区が64.5%、花見小学校区が64.2%となった。一方、今後も参加する意向がない人の割合は、小野小学校区（31.5%）、古賀西小学校区（32.5%）、花鶴小学校区（32.7%）で大きく3割を超えている。

【全体】

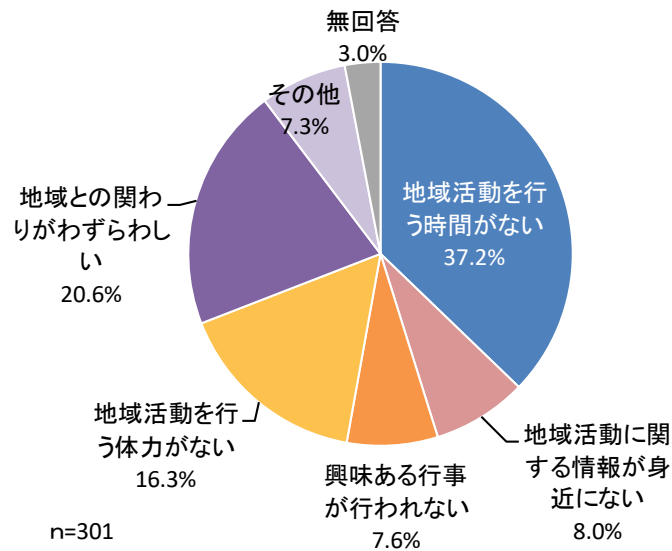


【校区別】



■地域活動に参加しない理由

地域活動に参加しない理由は「地域活動を行う時間がない」が 37.2%と最も多く、次いで「地域との関わりがわずらわしい」が 20.6%、「地域活動を行う体力がない」が 16.3%となっている。



(2) 古賀市での暮らし・まちづくりについて

【自分の生活を通して市の施策をどのように感じているか（満足度）】

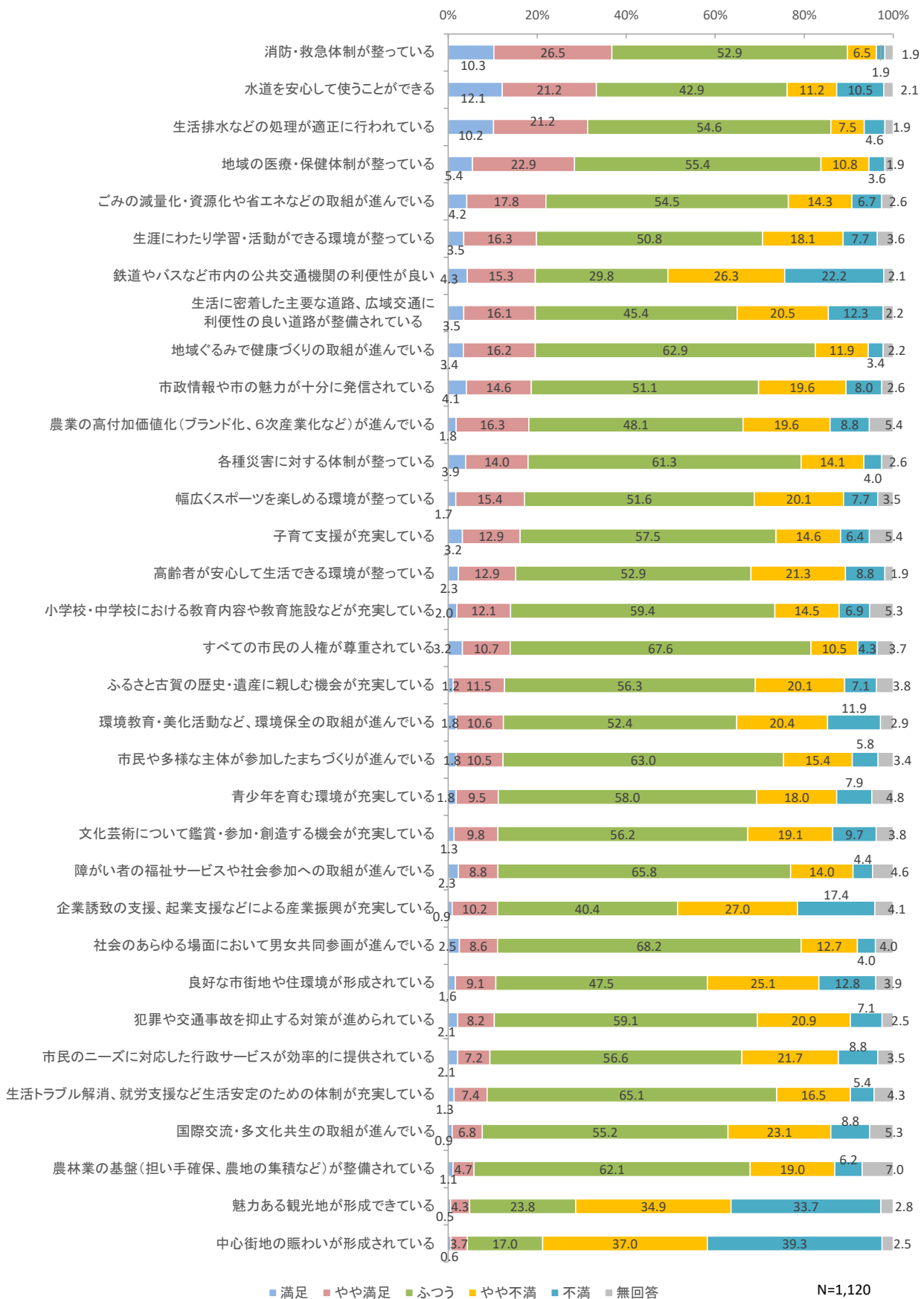
古賀市の施策満足度*についてみると、「消防・救急体制が整っている」（1位）、「水道を安心して使うことができる」（2位）、「生活排水などの処理が適切に行われている」（3位）、「地域の医療・保健体制が整っている」（4位）という、基本的な生活基盤に関する項目の満足度が上位を占めている。

一方、不満度は「中心市街地の賑わいが形成されている」（1位）、「魅力ある観光地が形成できている」（2位）など、まちのにぎわいに関する項目に対する不満度が突出して大きいことがわかった。

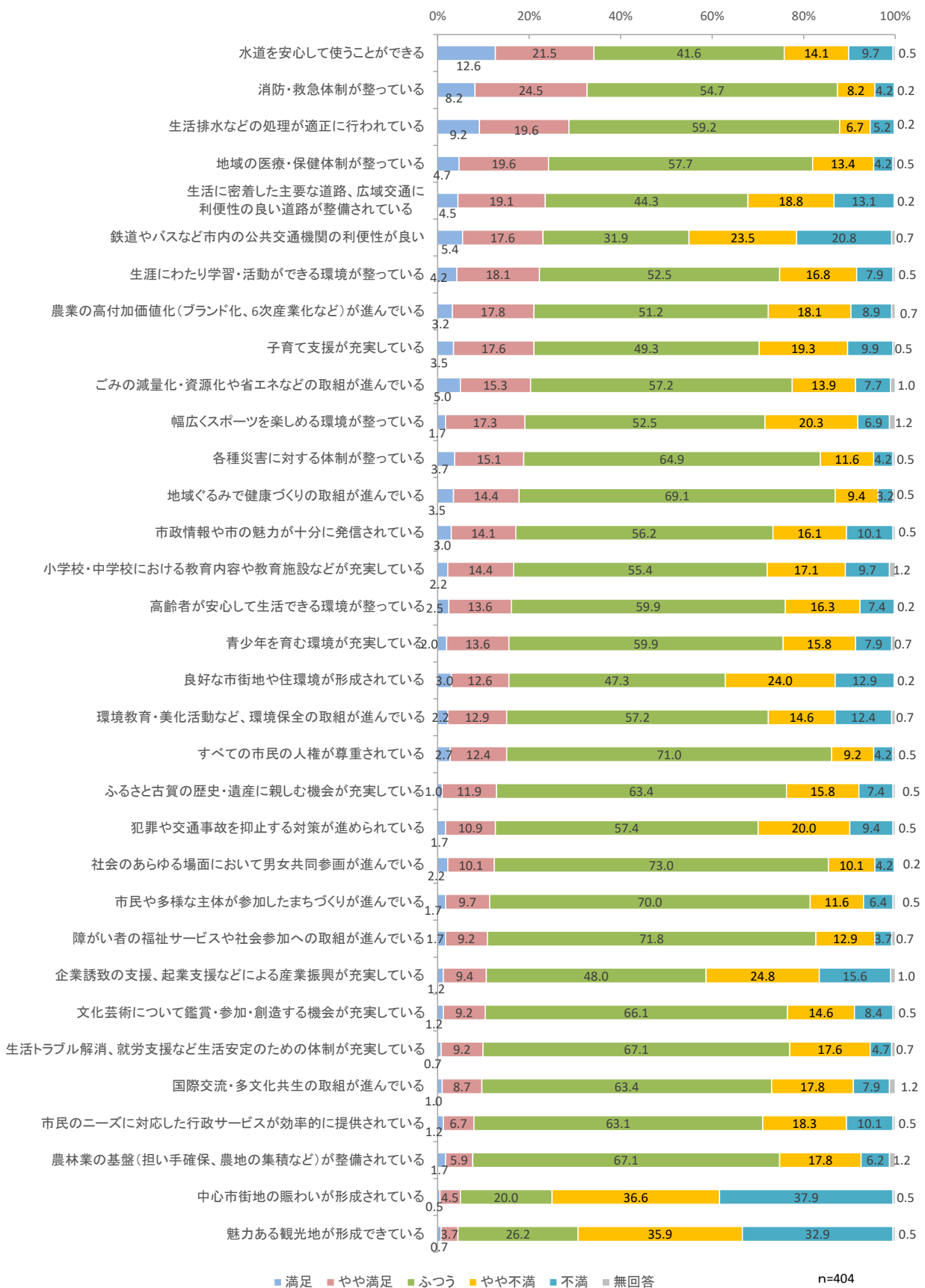
また、20～40代の子育て世代についても全体と同様の傾向であった。

*「満足度」は「満足」「やや満足」の合計。不満度は「やや不満」「不満の合計」

【全体】



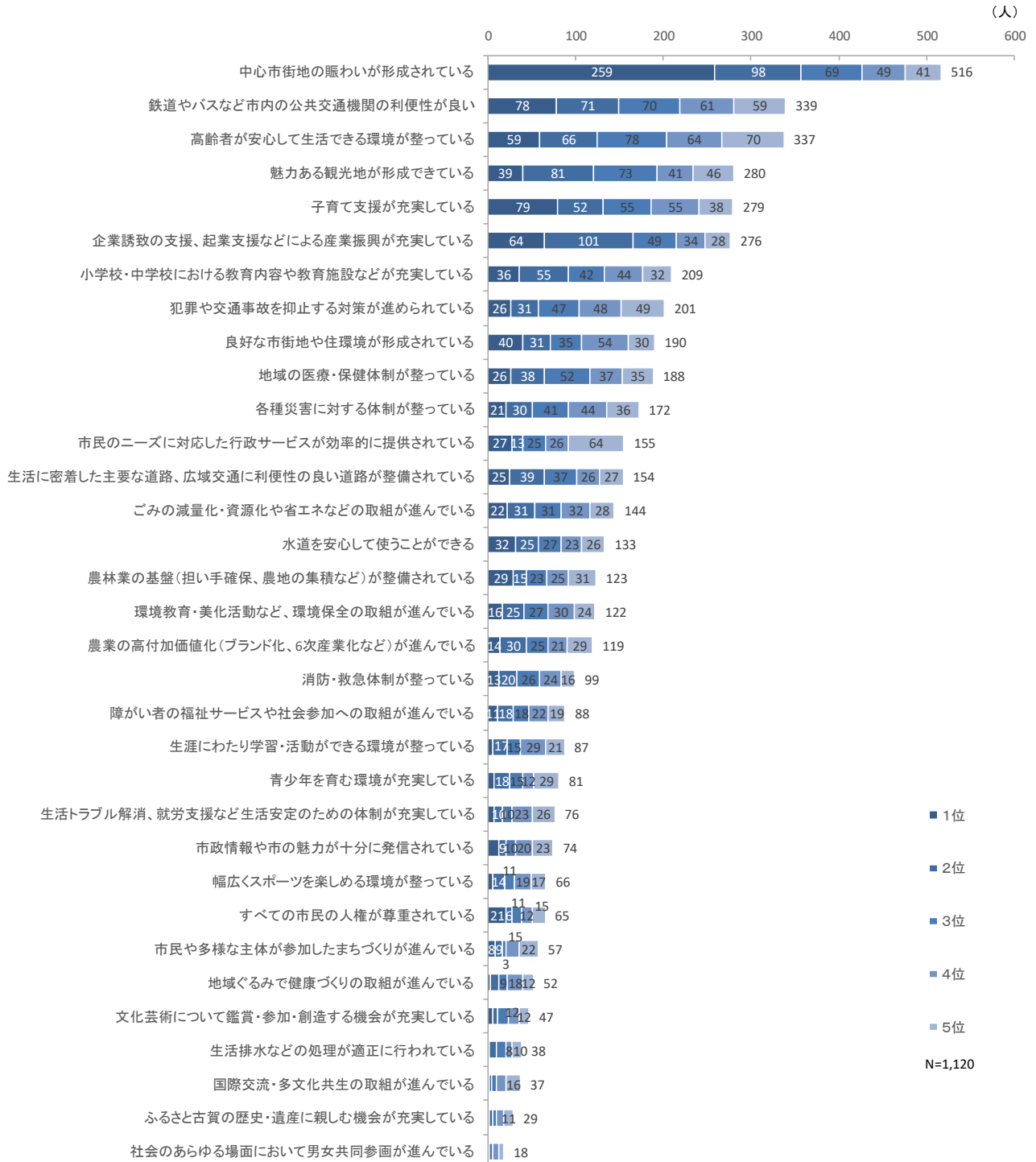
【20～40代】



【市の施策で重要だと思うこと（上位5項目選択）】

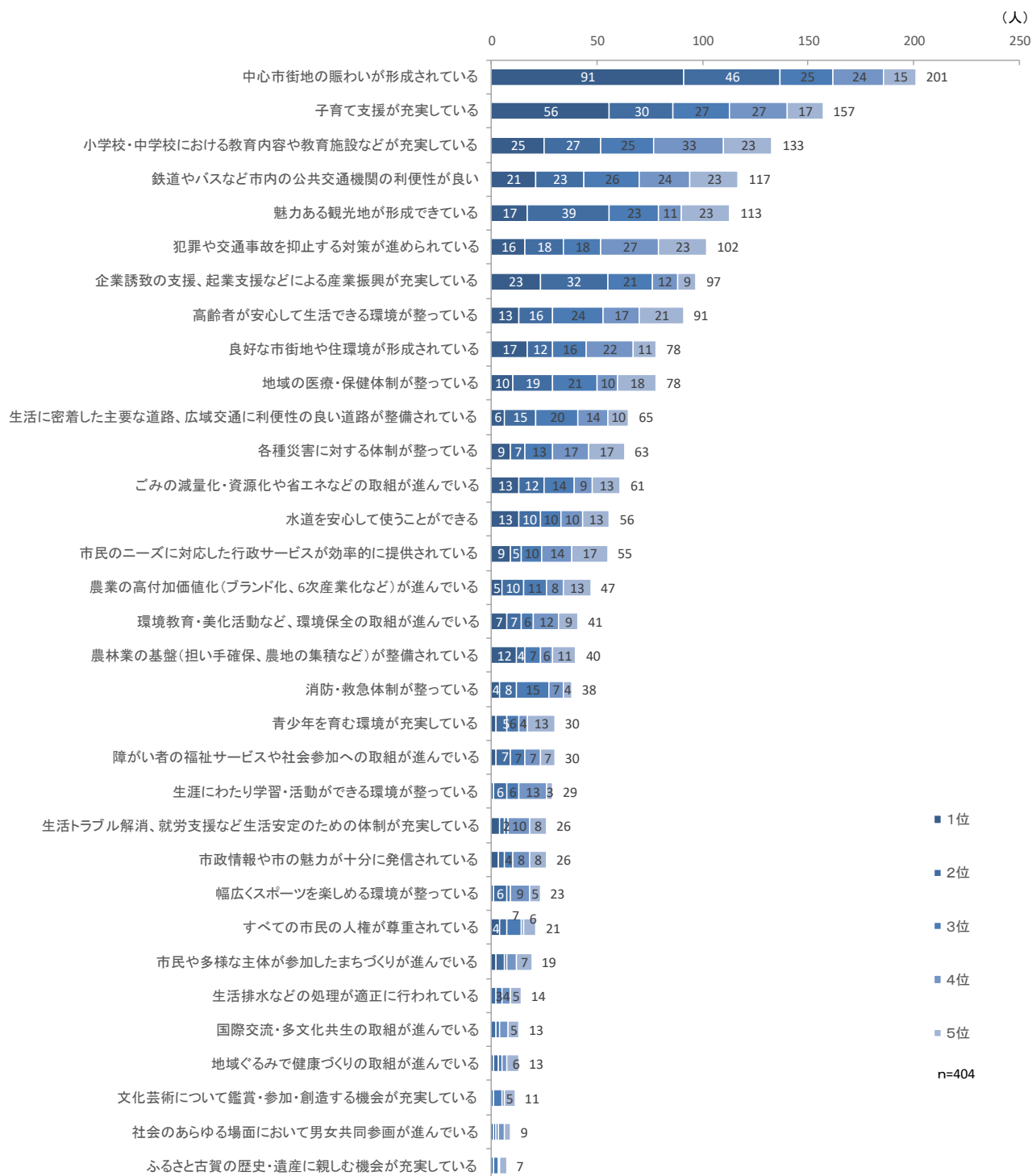
古賀市の施策重要度についてみると、上記で不満度の高かった「中心市街地の賑わいが形成されている」（1位）や「鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性が良い」（2位）、「高齢者が安心して生活できる観光が整っている」（3位）が上位に上がった。

【全体】



20～40代を抽出してみると、全体と同様に「中心市街地の賑わいが形成されている」が1位となったが、2位が「子育て支援が充実している」、3位が「小学校・中学校における教育内容や教育施設が充実している」と子育て関連の項目が上位に上がっている。

【20～40代】



■施策の満足度×重要度プロットによる施策評価（参考）

【算定・分類方法】

- 満足度スコアは、選択肢の良い順から「2点」「1点」「▲1点」「▲2点」を配点した平均
- 重要度点数は、重要度の高い順から「5点」「4点」「3点」「2点」「1点」を配点した合計
- 満足度スコア、重要度点数の平均を分類軸と設定し、「維持」「強化」「再検討」「見直し」に分類

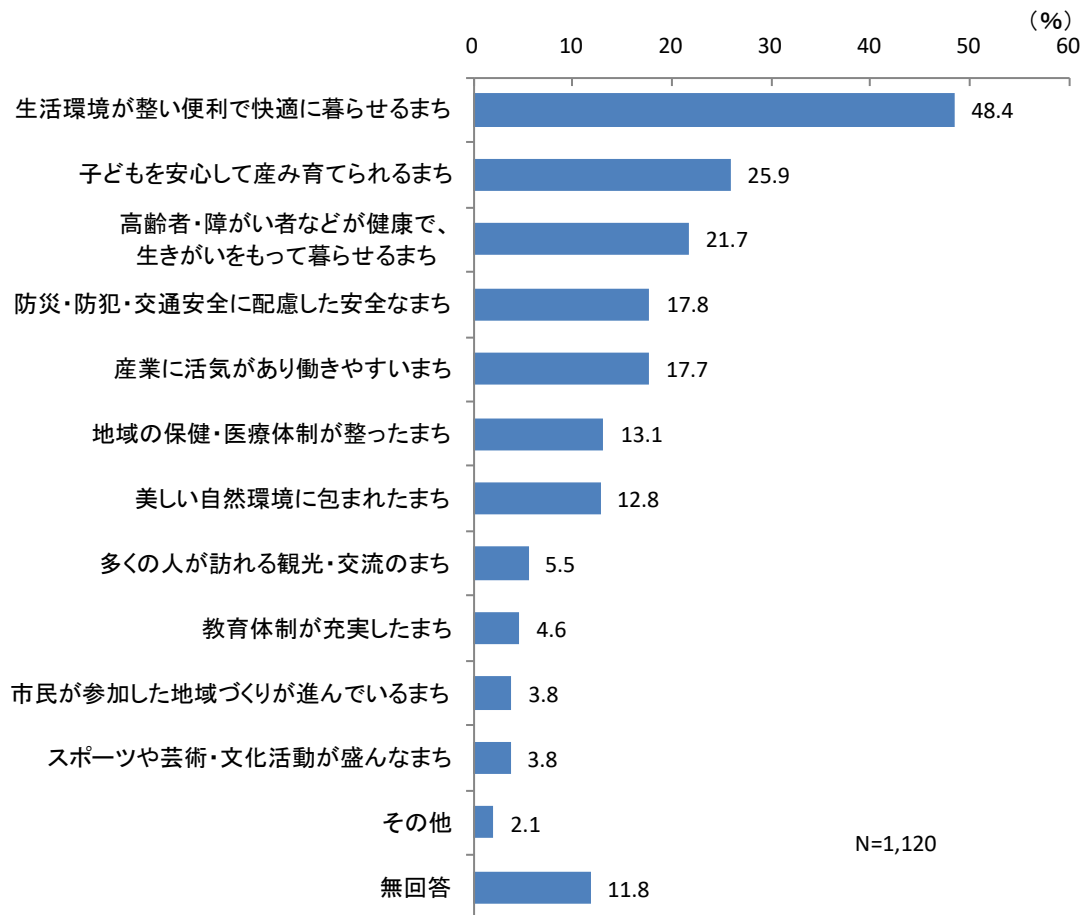
プロット No.	項目	分類	満足度スコア	重要度点数
8	小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している	維持	-0.13	646
21	各種災害に対する体制が整っている	維持	0.00	472
24	地域の医療・保健体制が整っている	維持	0.16	547
25	子育て支援が充実している	維持	-0.08	916
3	中心街地の賑わいが形成されている	強化	-1.13	2033
4	企業誘致の支援、起業支援などによる産業振興が充実している	強化	-0.52	967
5	魅力ある観光地が形成できている	強化	-1.00	866
15	良好な市街地や住環境が形成されている	強化	-0.40	567
16	鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い	強化	-0.48	1065
17	生活に密着した主要な道路、広域交通に利便性の良い道路が整備されている	強化	-0.23	471
22	犯罪や交通事故を抑止する対策が進められている	強化	-0.23	540
26	高齢者が安心して生活できる環境が整っている	強化	-0.22	991
1	農林業の基盤（担い手確保、農地の集積など）が整備されている	再検討	-0.26	355
6	環境教育・美化活動など、環境保全の取組が進んでいる	再検討	-0.31	345
10	国際交流・多文化共生の取組が進んでいる	再検討	-0.34	72
11	青少年を育む環境が充実している	再検討	-0.22	205
12	文化芸術について鑑賞・参加・創造する機会が充実している	再検討	-0.27	121
13	ふるさと古賀の歴史・遺産に親しむ機会が充実している	再検討	-0.21	64
33	市民のニーズに対応した行政サービスが効率的に提供されている	再検討	-0.29	378
2	農業の高付加価値化（ブランド化、6次産業化など）が進んでいる	見直し	-0.18	336
7	ごみの減量化・資源化や省エネなどの取組が進んでいる	見直し	-0.02	419
9	生涯にわたり学習・活動ができる環境が整っている	見直し	-0.11	217
14	幅広くスポーツを楽しめる環境が整っている	見直し	-0.17	169
18	水道を安心して使うことができる	見直し	0.14	413
19	生活排水などの処理が適正に行われている	見直し	0.25	96
20	消防・救急体制が整っている	見直し	0.37	287
23	地域ぐるみで健康づくりの取組が進んでいる	見直し	0.04	130
27	障がい者の福祉サービスや社会参加への取組が進んでいる	見直し	-0.10	244
28	生活トラブル解消、就労支援など生活安定のための体制が充実している	見直し	-0.18	177
29	すべての市民の人権が尊重されている	見直し	-0.02	201
30	社会のあらゆる場面において男女共同参画が進んでいる	見直し	-0.07	38
31	市民や多様な主体が参加したまちづくりが進んでいる	見直し	-0.13	137
32	市政情報や市の魅力が十分に発信されている	見直し	-0.13	189
		平均 (分類軸)	-0.20	445



【地域の将来像】

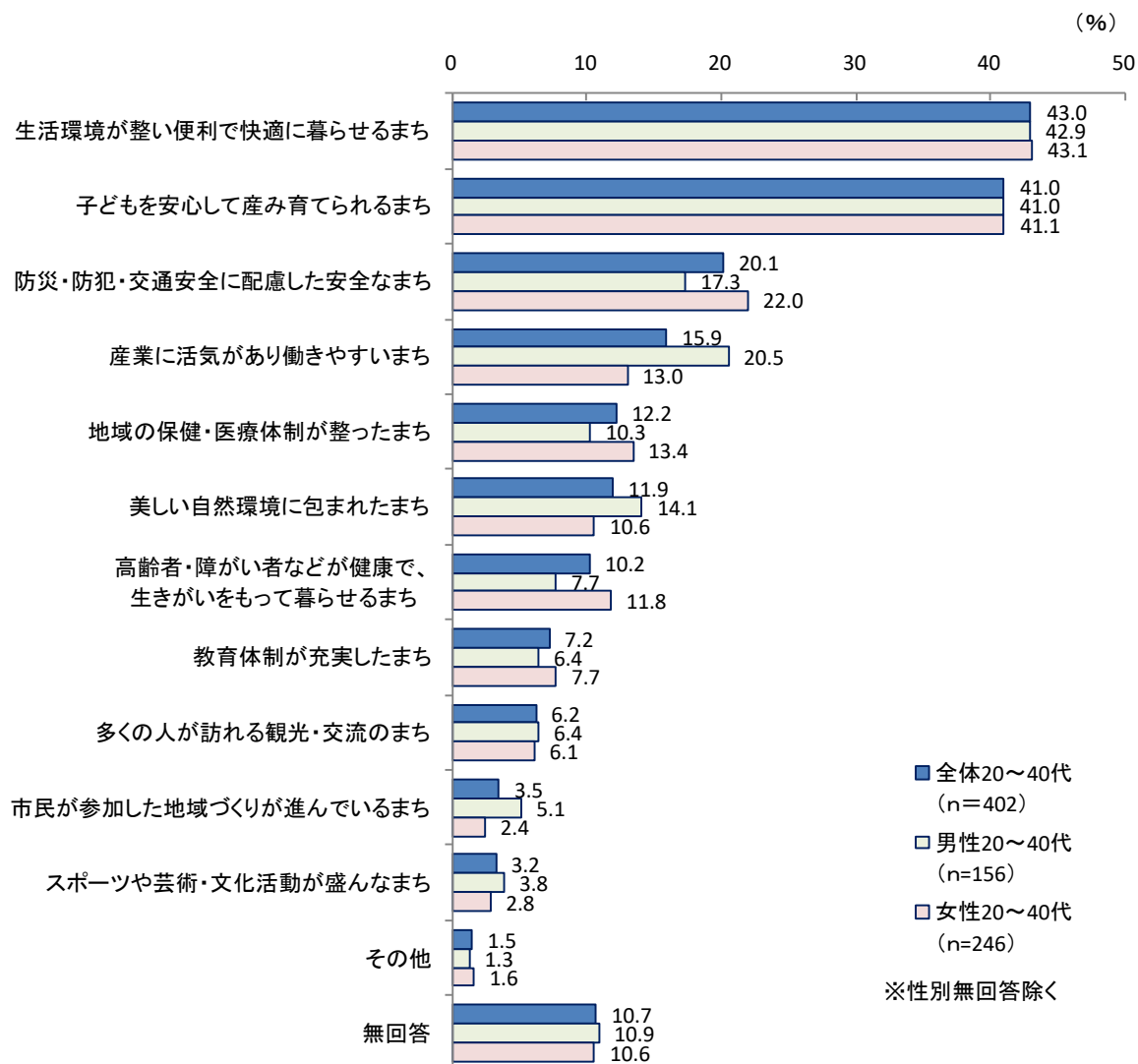
将来の古賀市がどのようなことを望むかについては、「生活環境が整い便利で快適に暮らせるまち」が 48.4%と最も多く、次いで「子どもを安心して産み育てられるまち」が 25.9%、「高齢者・障害者などが健康で、生きがいをもって暮らせるまち」が 21.7%となっている。

【全体】



20～40代の子育て世代のみを抽出してみると、2位の「子どもを安心して産み育てられるまち」が全体の25.9%に対し、41.0%と15.1ポイント多くなっている。

【20～40代】



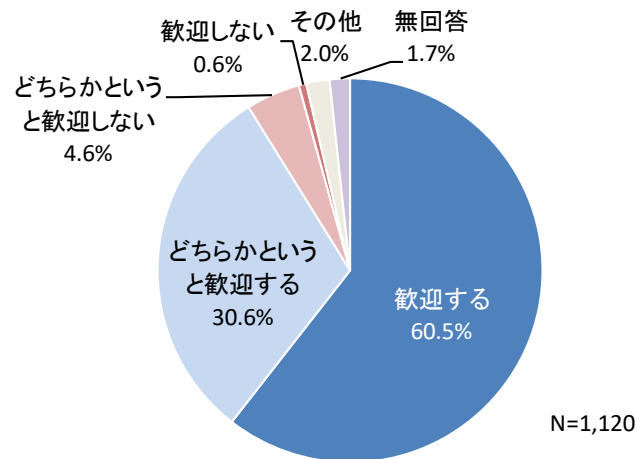
【移住者についての考え】

■人口維持や地域活性化のために他の地域から移住者を受け入れることについて

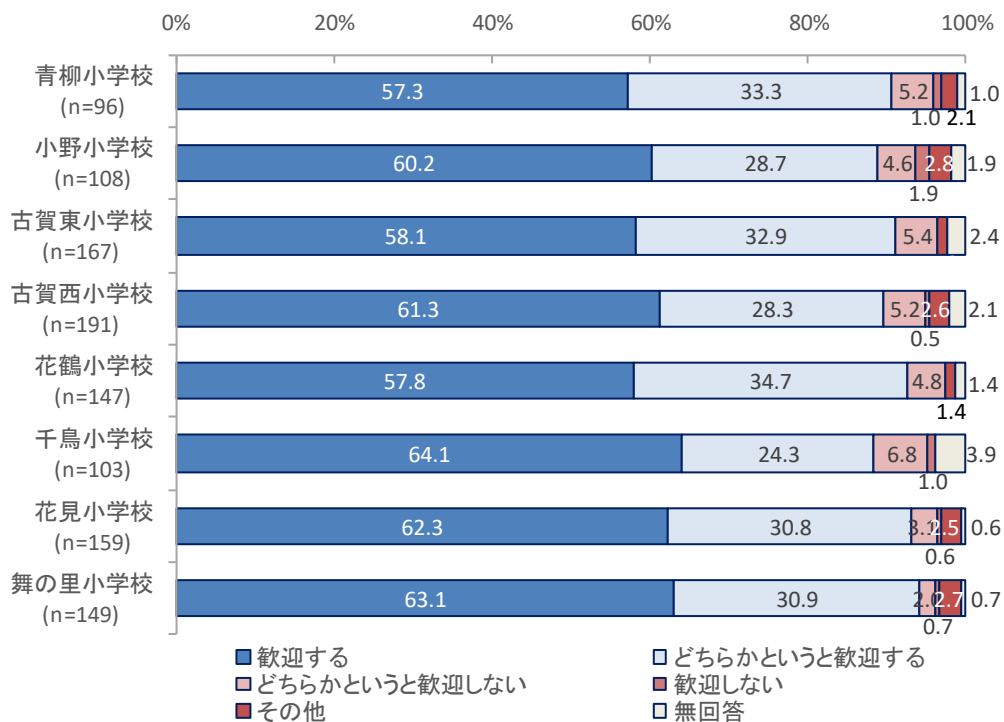
他地域からの移住者を増やすことについては、「歓迎する」と回答した人が60.5%と最も多く、次いで「どちらかという歓迎する」が30.6%と約9割が肯定的に捉えている。

校区別にみても特に大きな差はみられない。

【全体】

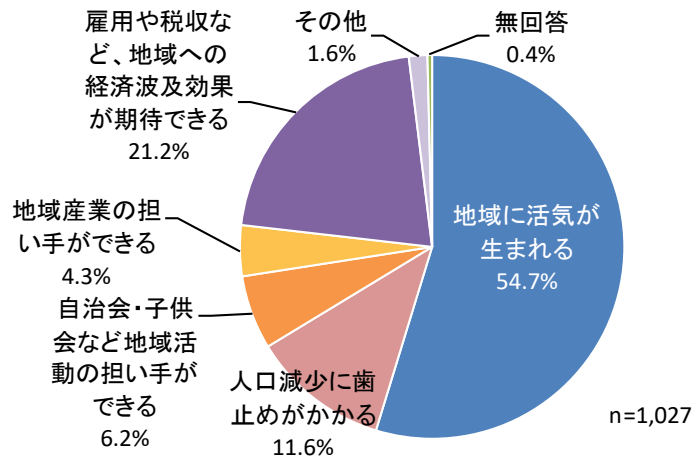


【校区別】



■移住者を歓迎する理由

移住者を歓迎する理由は、「地域に活気が生まれる」と回答した人が 54.7%と最も多く、次いで「雇用や税金など、地域への経済波及効果が期待できる」が 21.2%、「人口減少に歯止めがかかる」が 11.6%となっている。



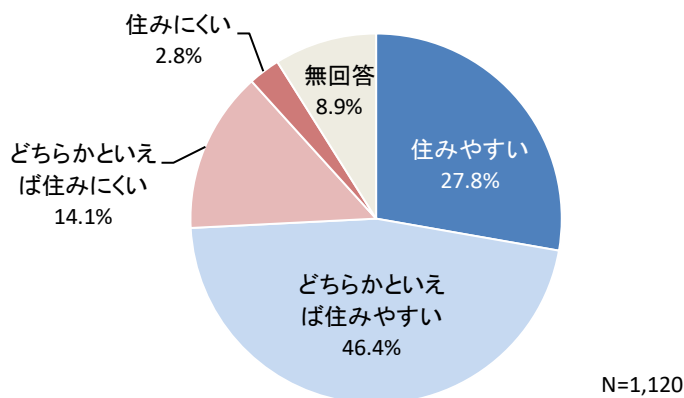
(3) 古賀市の住みやすさについて

古賀市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」と回答した人が 46.4%と最も多く、次いで「住みやすい」が 27.8%となっている。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人は合わせて 74.4%と 7 割を超えている。また、20～40 代の子育て世代についても同様の傾向であるが、男性よりも女性の方が「住みやすい」の割合が高くなっている。

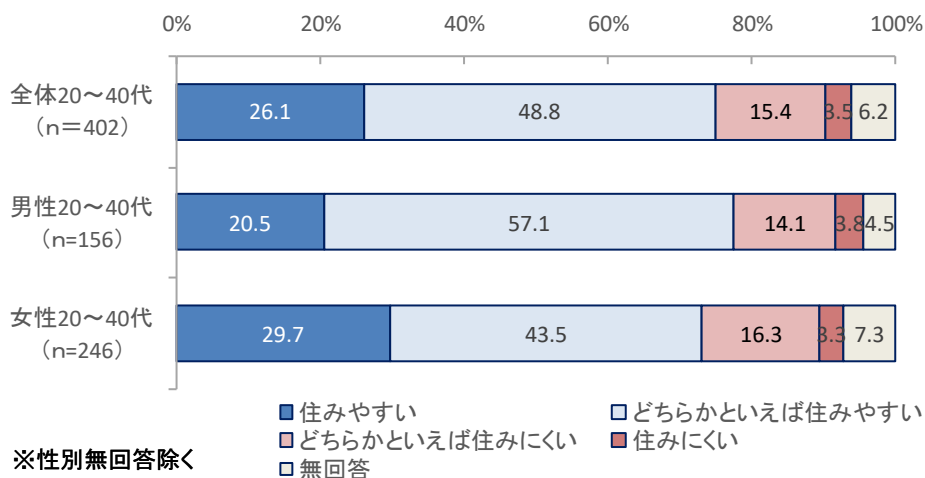
校区別にみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の割合は、花見小学校区が 83.6%と最も大きく 8 割を超えている。一方、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人の割合は、小野小学校区が 31.5%と最も大きく 3 割を超えている。

なお、平成 19 年、27 年調査と比較すると、「住みやすい」の割合が高くなっている。

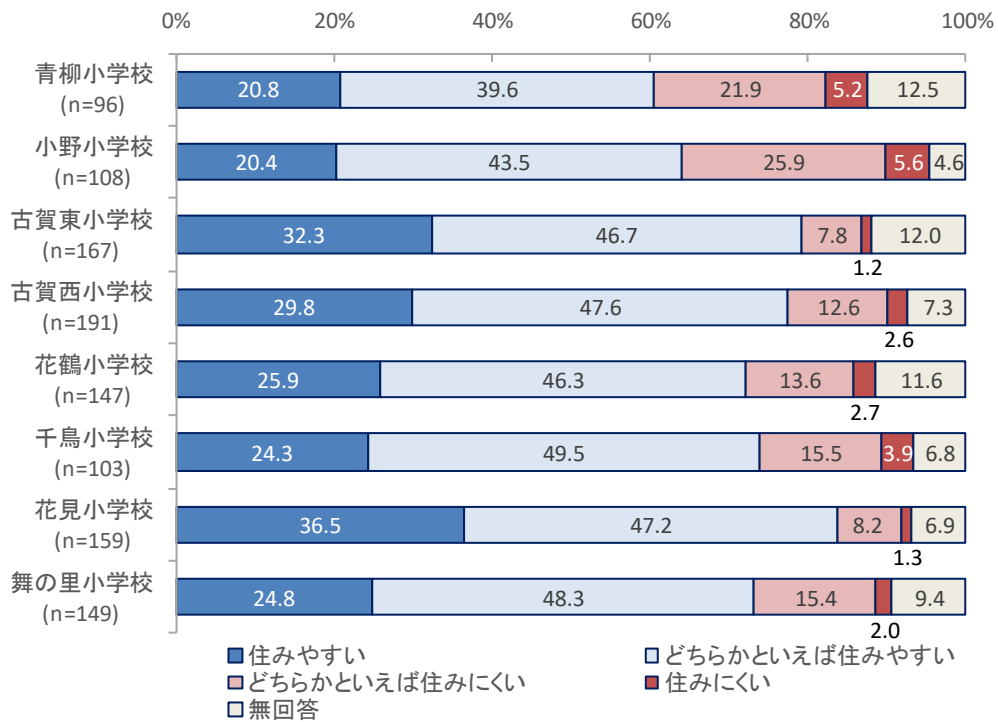
【全体】



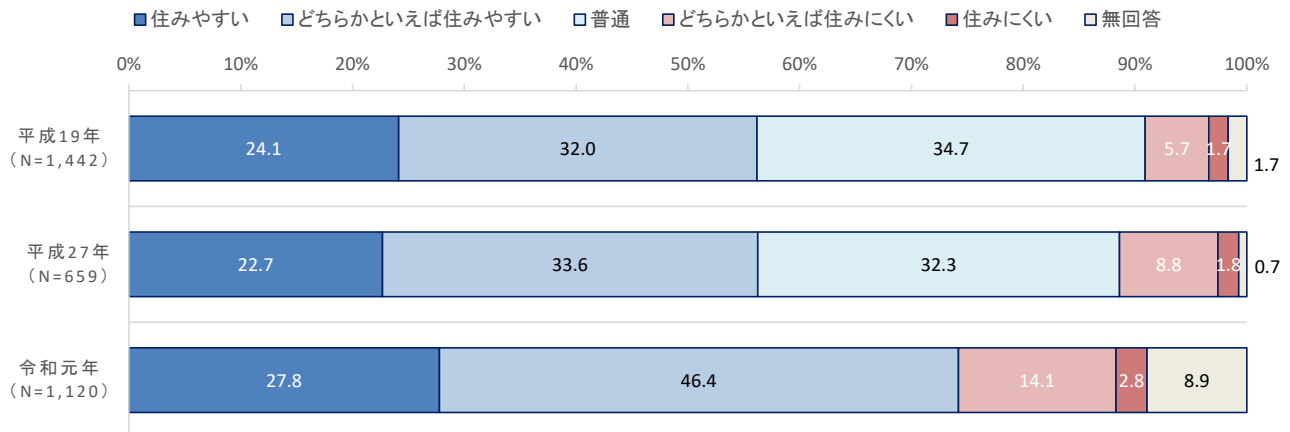
【20～40 代】



【校区別】



(参考) 経年比較 平成19年調査、平成27年調査

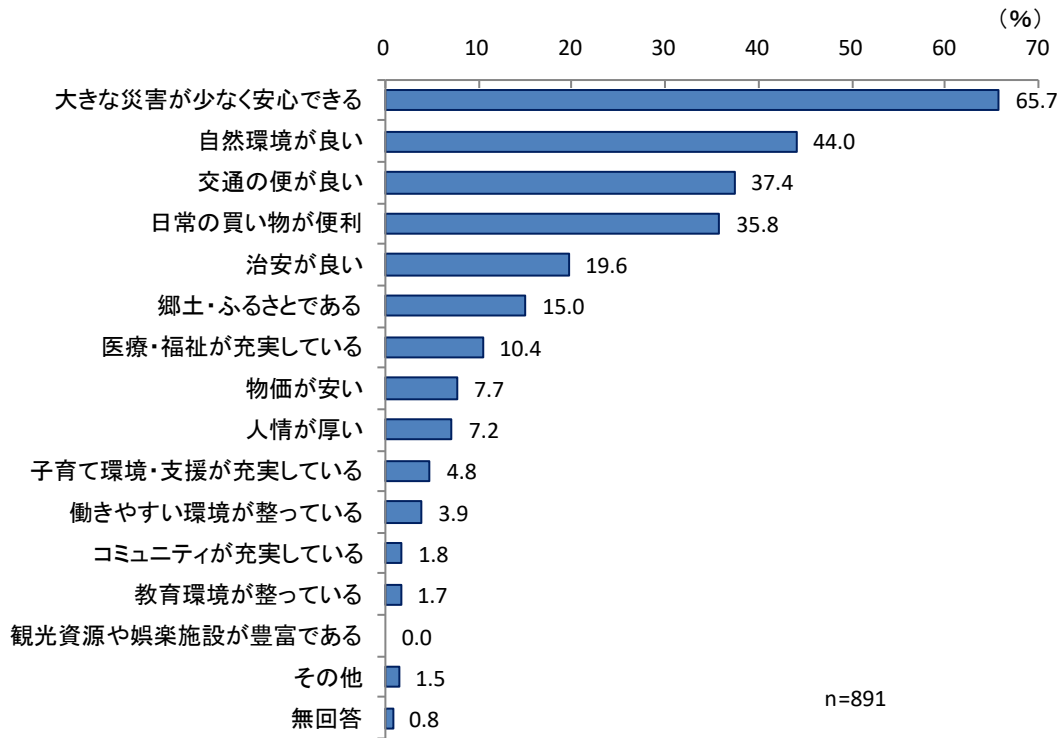


■住みやすい理由（「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人）

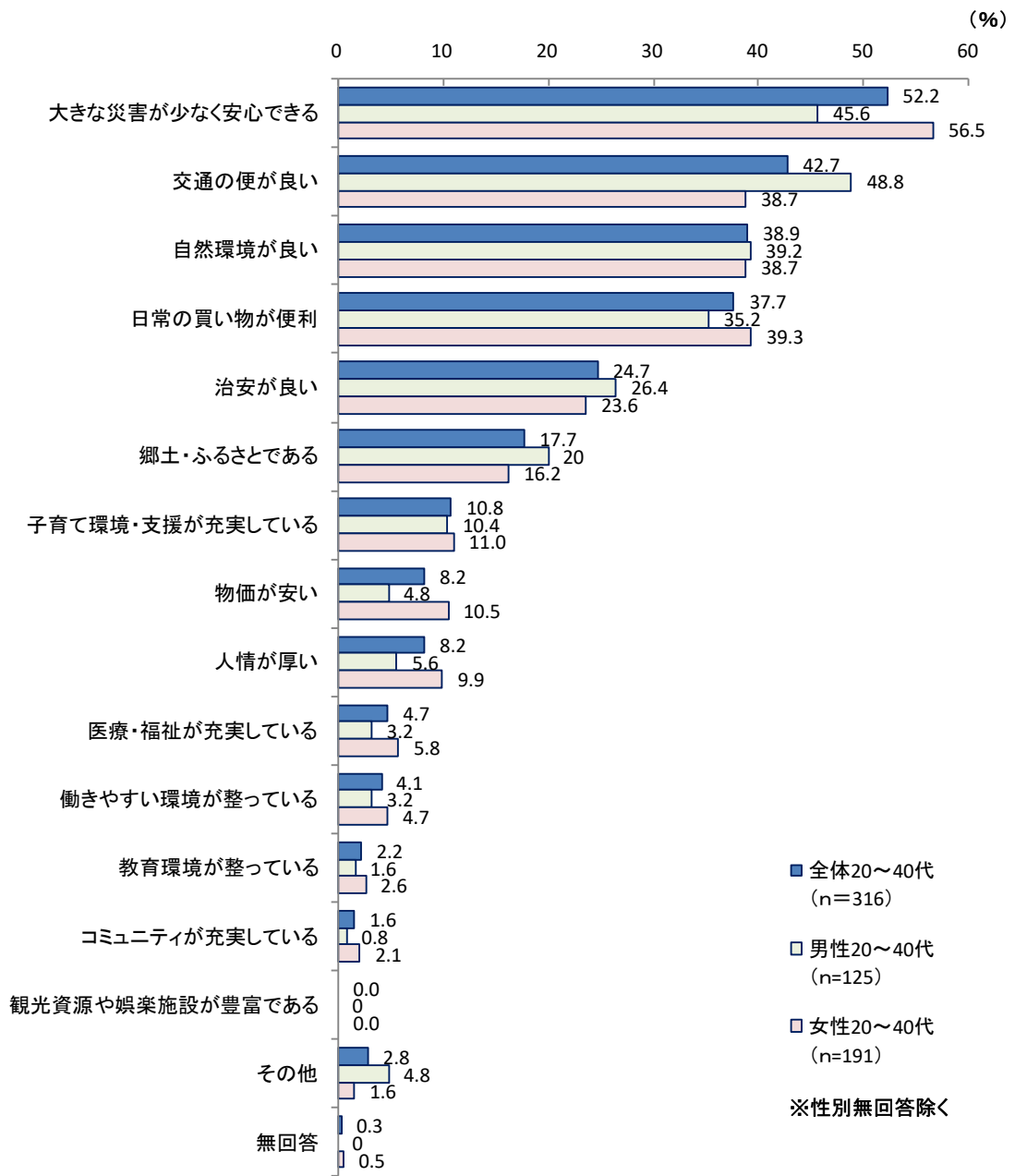
古賀市の住みやすい理由は、「大きな災害が少なく安心できる」と回答した人が65.7%と最も多く、次いで「自然環境が良い」が44.0%、「交通の便が良い」が37.4%となっている。

なお、20～40代を抽出してみると、「交通の便が良い」（42.7%）が「自然環境が良い」（38.9%）を若干上回っている。

【全体】



【20～40代】

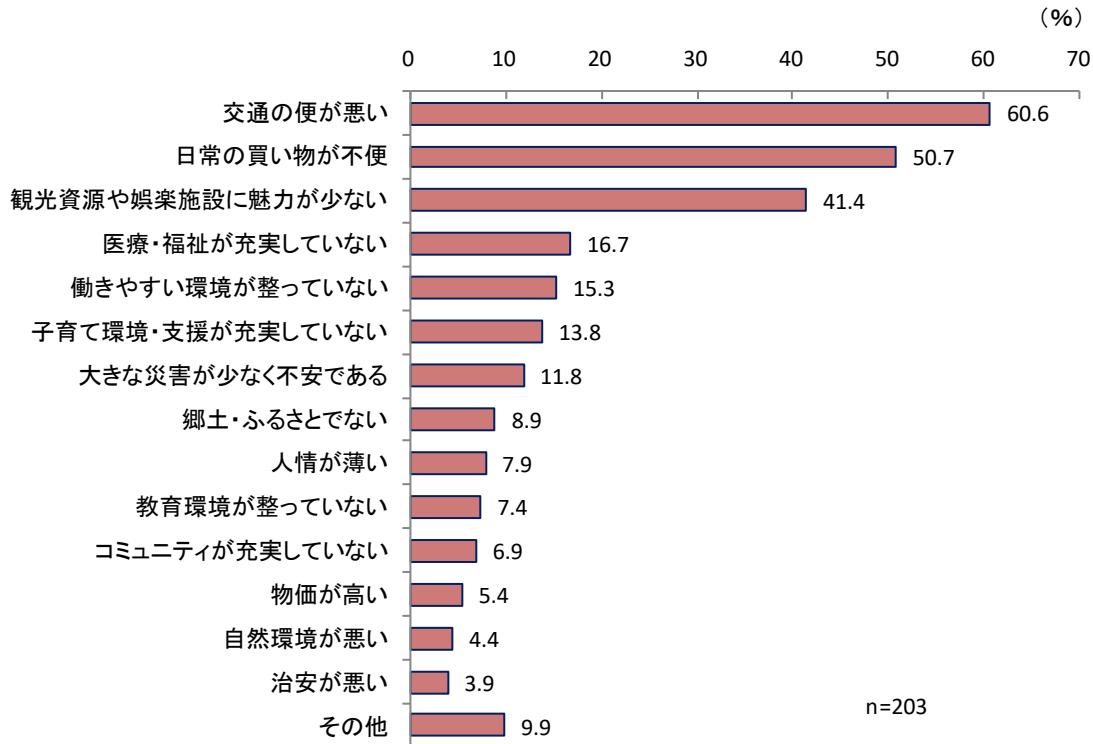


■住みにくい理由（「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と回答した人）

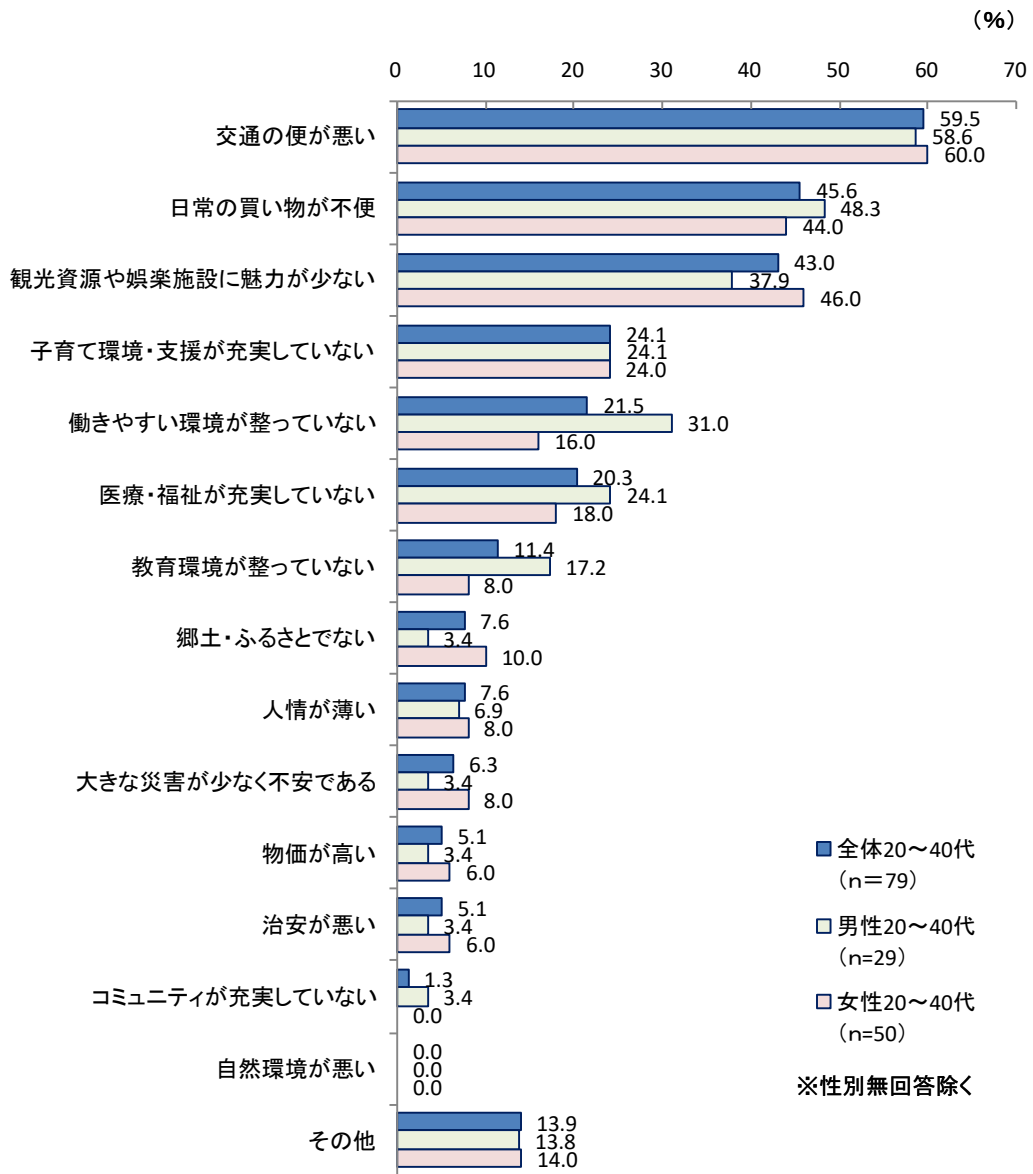
古賀市の住みにくい理由は「交通の便が悪い」と回答した人が 60.6%と最も多く、次いで「日常の買い物が不便」が 50.7%、「観光資源や娯楽施設に魅力が少ない」が 41.4%となっている。

なお、20～40 代を抽出してみると、「子育て環境・支援が充実していない」（24.1%）、「働きやすい環境が整っていない」（21.5%）、「教育環境が整っていない」（11.4%）などで全体よりも高くなっている。

【全体】



【20～40代】



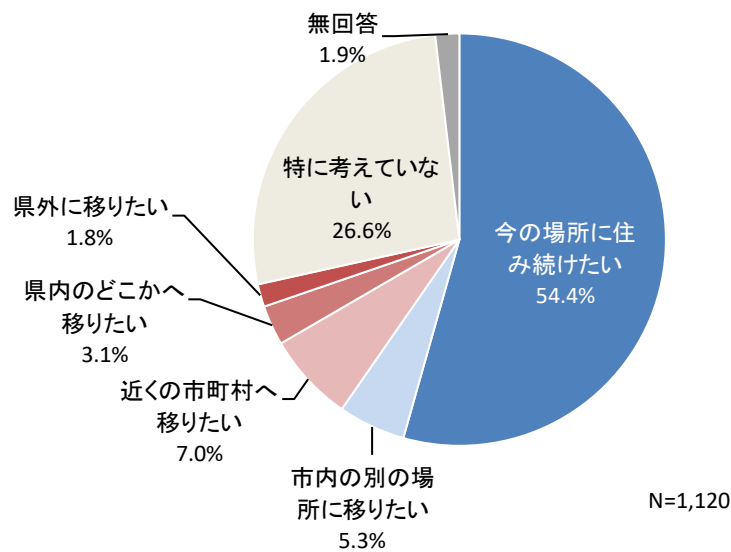
【古賀市に住み続ける意向】

■古賀市に住み続けたいか

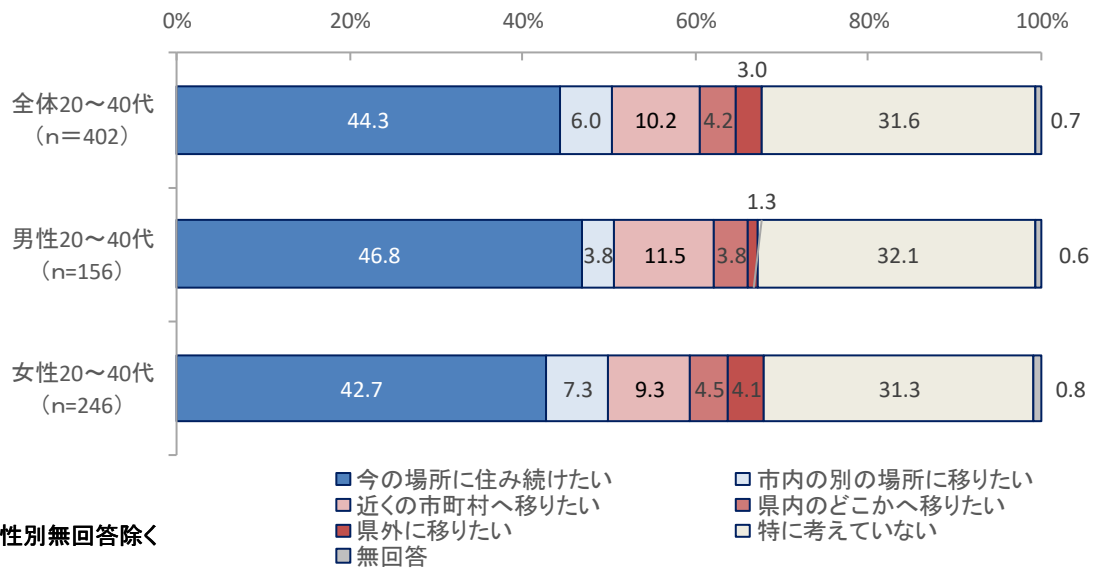
今後も古賀市に住み続けたいかについては、「今の場所に住み続けたい」と回答した人が54.4%と最も多く、次いで「特に考えていない」が26.6%となった。一方、約1割の人が市外に移りたいと回答している。なお、20～40代を抽出してみると、「今の場所に住み続けたい」が44.3%と、全体よりも10.1ポイント低くなっている。

校別にみると、「今の場所に住み続けたい」と回答した人は、古賀東小学校区が62.9%と最も多く、6割を超えている。一方、青柳小学校区（39.6%）、小野小学校区（38.0%）が4割以下と少ない。

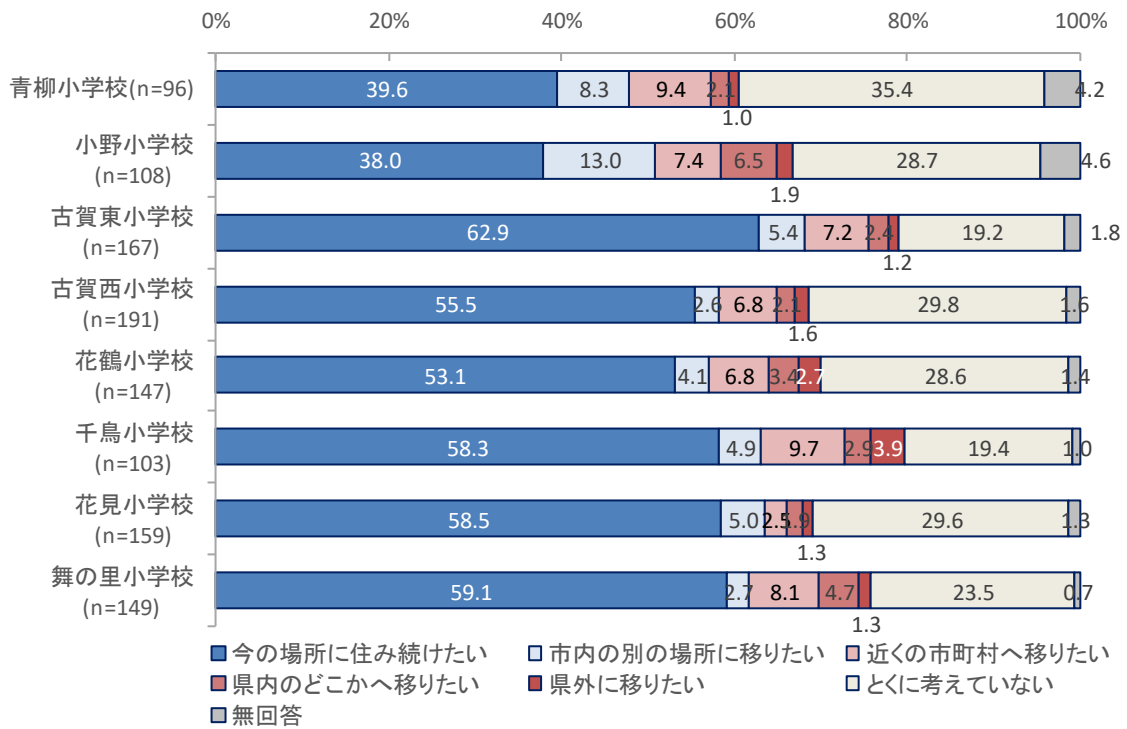
【全体】



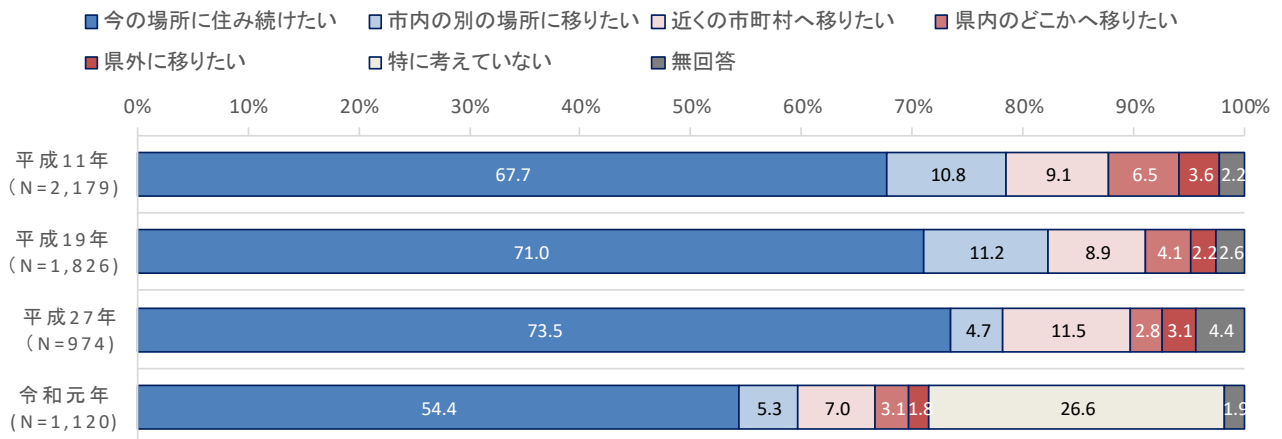
【20～40代】



【校別】



(参考) 経年比較 平成 19 年調査、平成 27 年調査

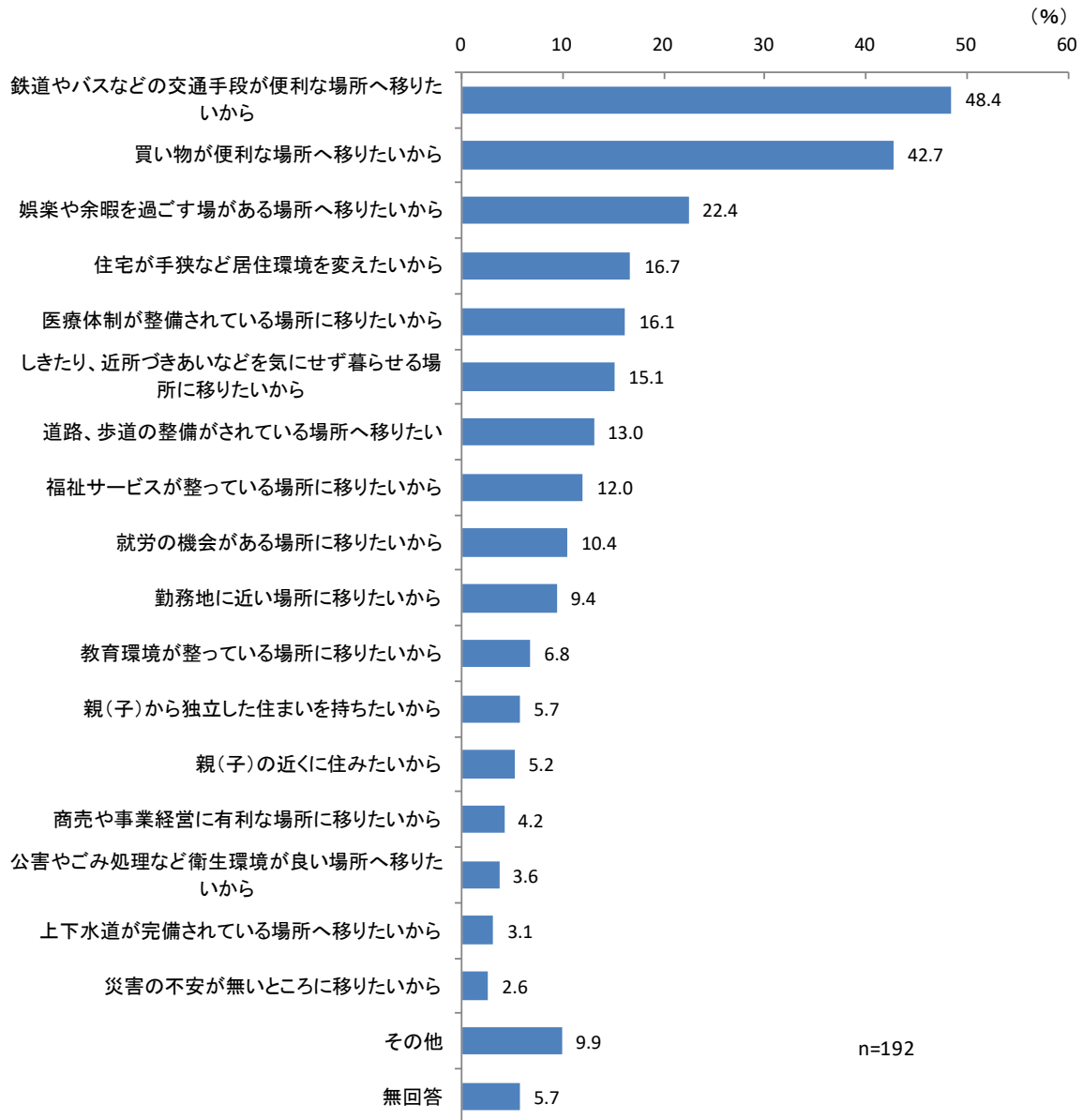


■他の場所に移りたい理由

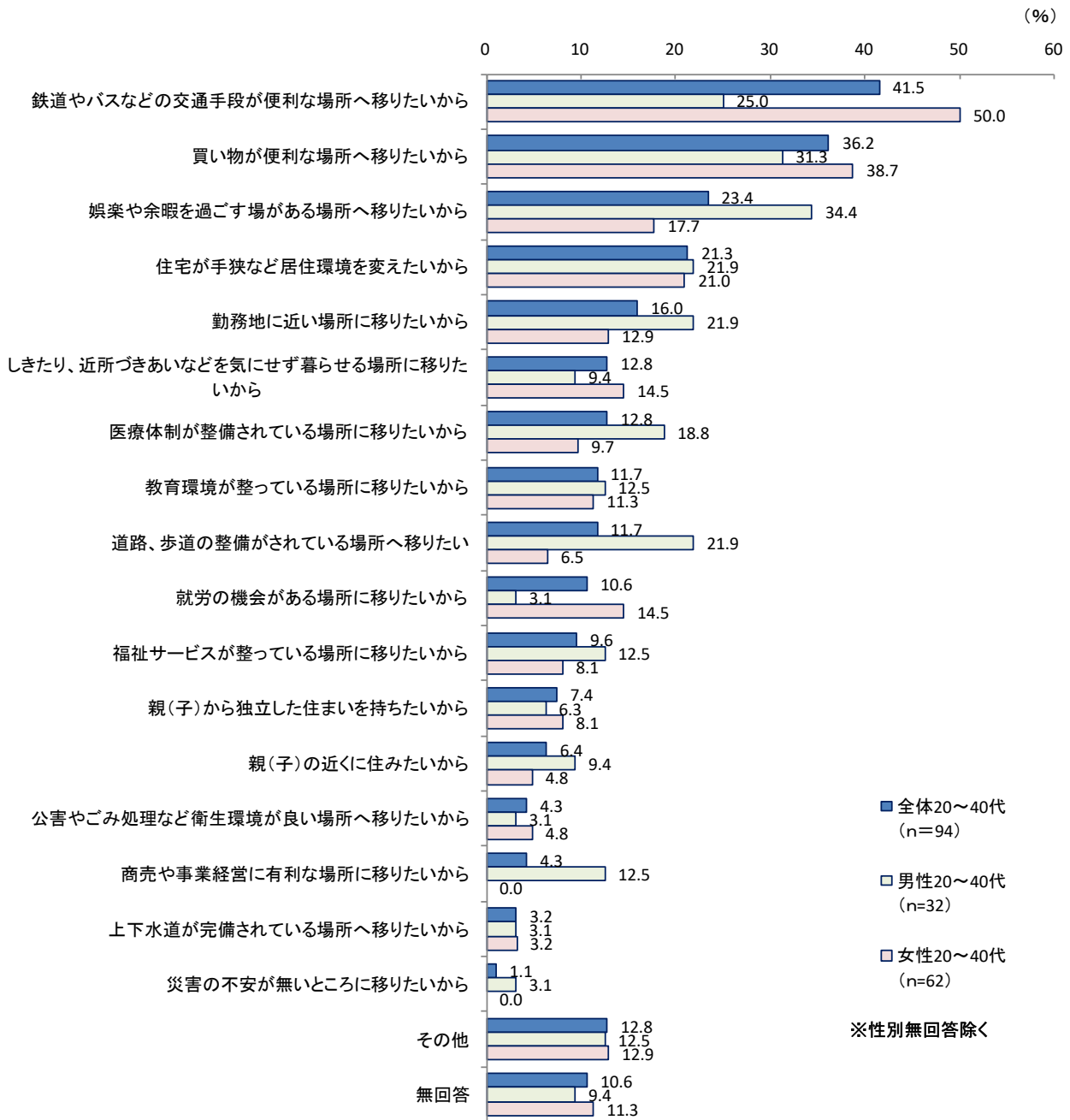
他の場所に移りたい理由は、「鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所に移りたいから」と回答した人が48.4%と最も多く、次いで「買い物が便利な場所へ移りたいから」が42.7%と、日常生活の不便さを理由に挙げる人が多い。

なお、20～40代を抽出してみると、「勤務地に近い場所に移りたいから」(16.0%)が全体よりも比較的高くなっている。

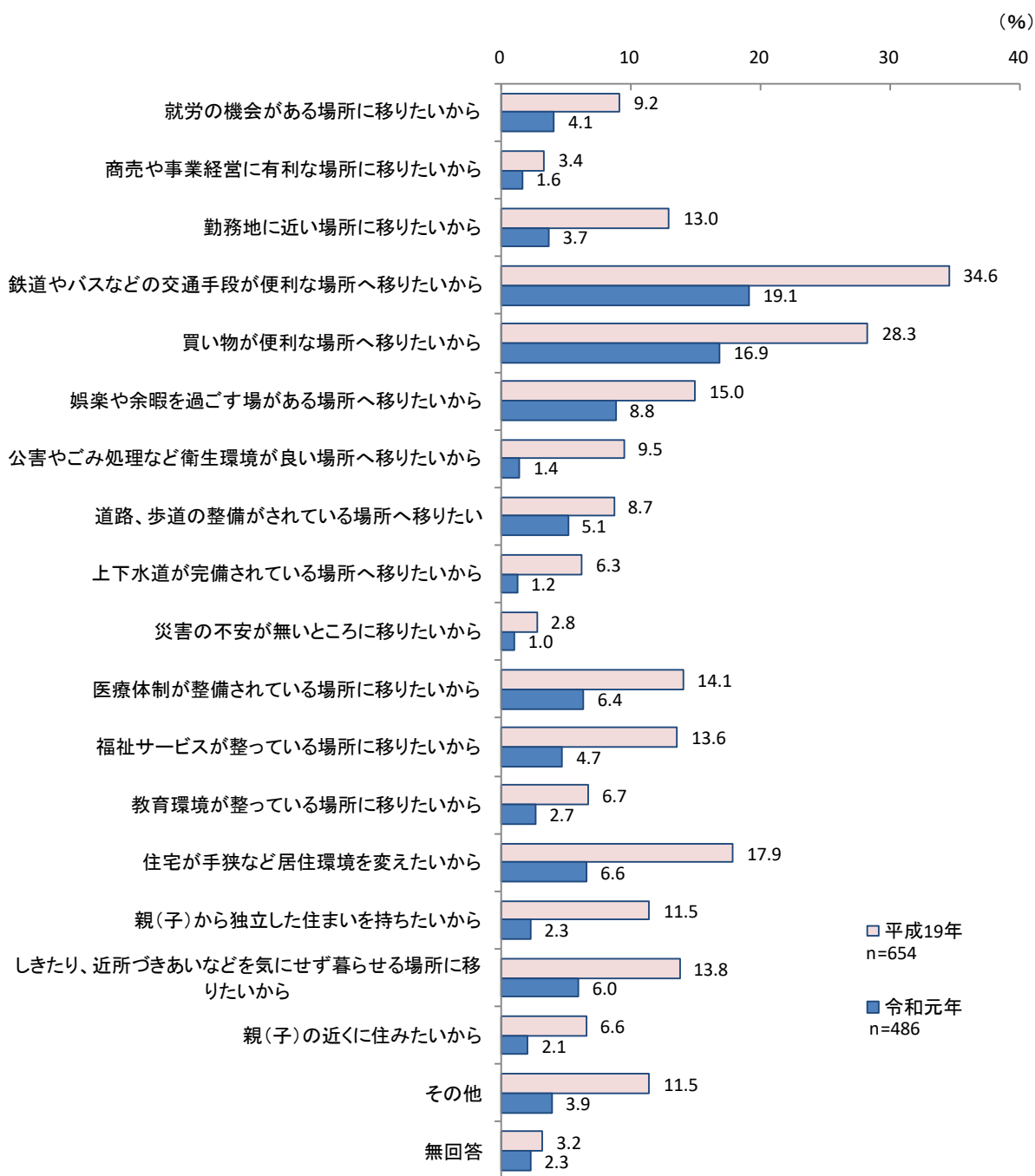
【全体】



【20～40代】



(参考) 経年比較 平成 27 年調査

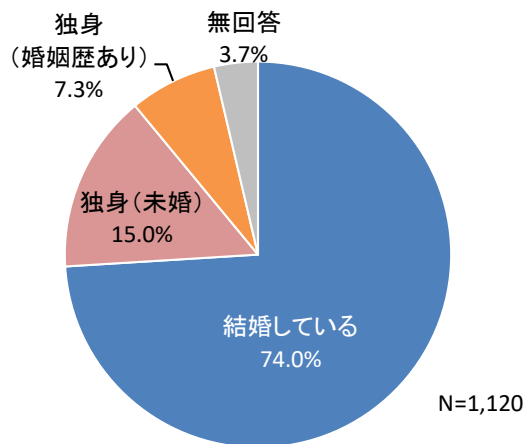


(4) 結婚・子育てについて

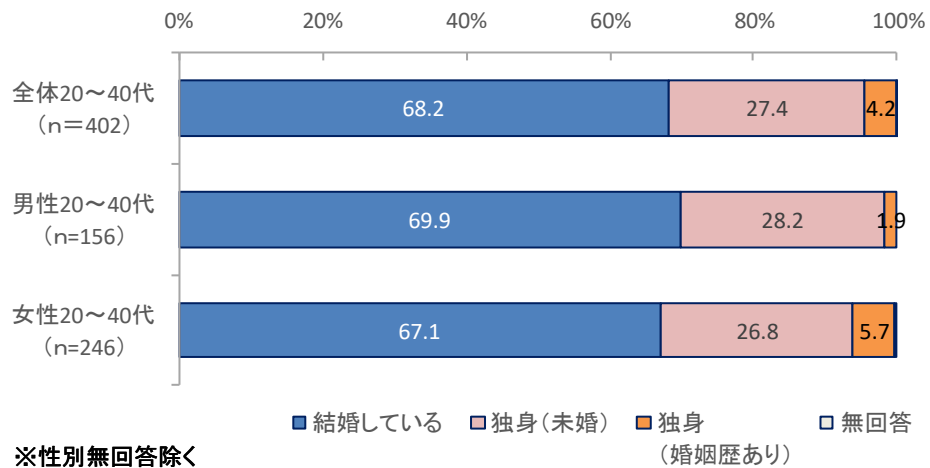
【結婚の有無について】

結婚の有無については、「結婚している」と回答した人が74.0%、「独身(未婚)」が15.0%、「独身(婚姻歴あり)」が7.3%となった。

【全体】



【20～40代】



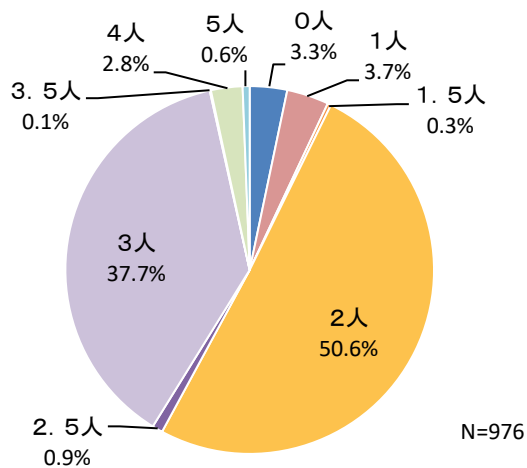
【子どもの数について】

■希望する子どもの数と実際の子どもの数

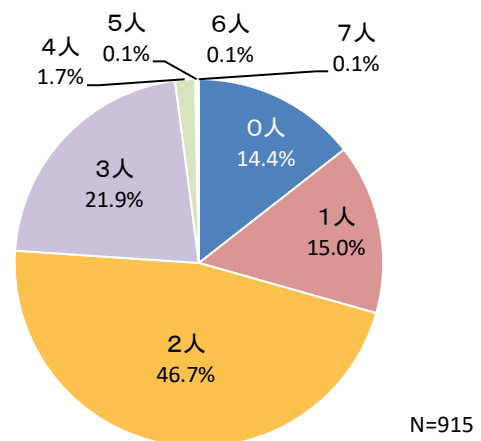
希望する子どもの数は、「2人」と回答した人が50.6%と最も多く、次いで「3人」が37.7%となっている。また、希望する子どもの数の平均は2.35人であった。一方、実際の子どもの数は「2人」が46.7%と最も多く、次いで「3人」が21.8%となっている。また、実際の子どもの数の平均は1.83人であった。全体として、希望する子どもの数と実際の子どもの数の差は0.52人となった。また、20～40代を抽出してみると、希望する子どもの数の平均は2.21人、実際の子どもの数の平均は1.48人で、希望と実際の子どもの数の差は0.73人と、全体よりも若干差が大きい。なお、前回調査（平成27）では、希望する子どもの数の平均は2.1人、実際の子どもの数は1.7人と差は0.4人であった。

【全体】

【希望する子どもの数（平均 2.35 人）】

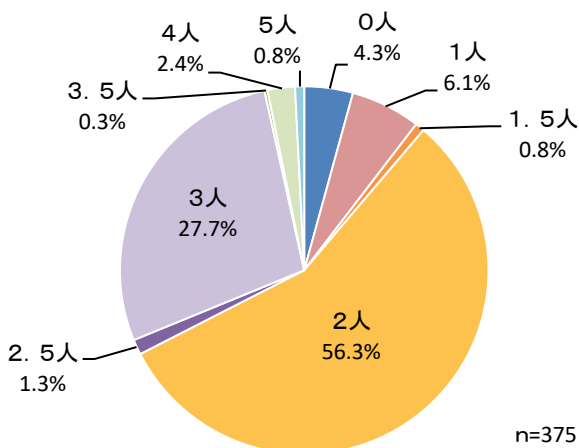


【実際の子どもの数（平均 1.83 人）】

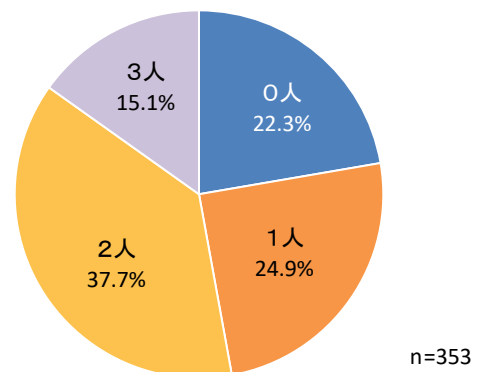


【20～40代】

【希望する子どもの数（平均 2.21 人）】



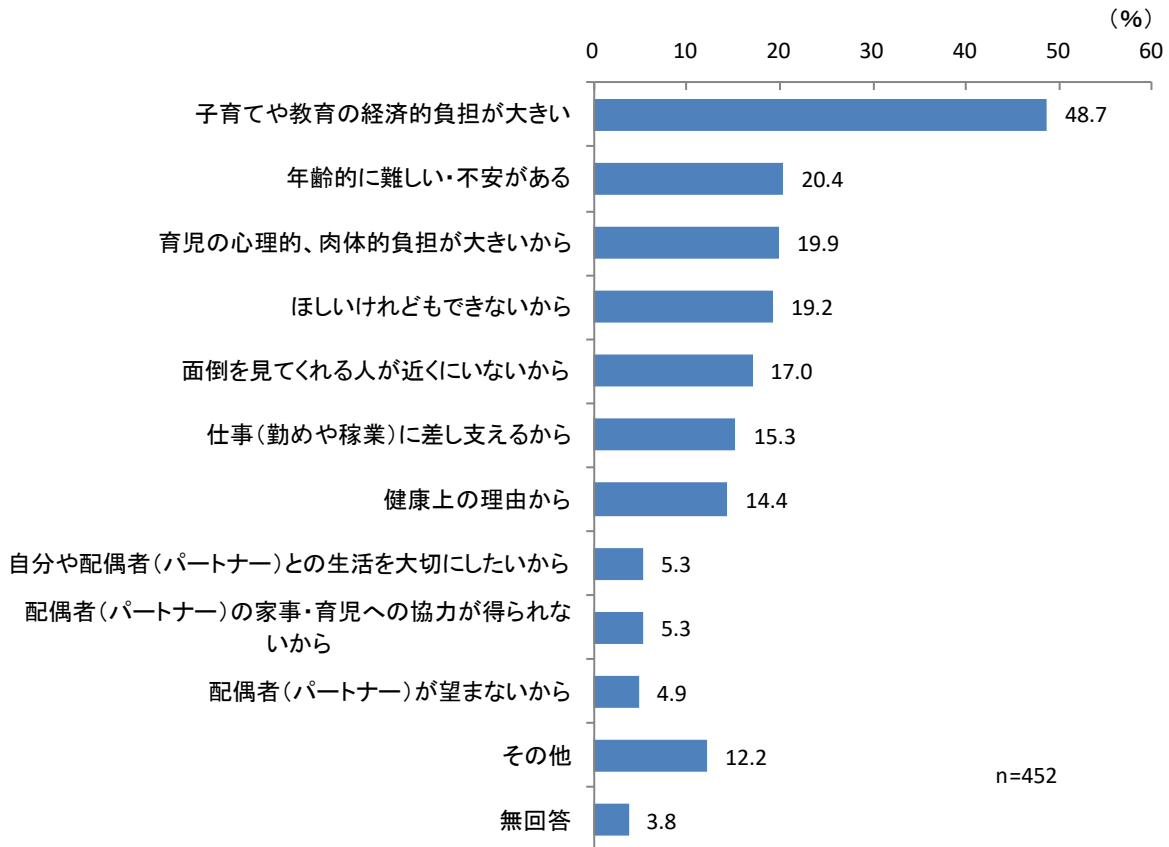
【実際の子どもの数（平均 1.48 人）】



■希望する子どもの数と実際の子どもの数が少ない理由

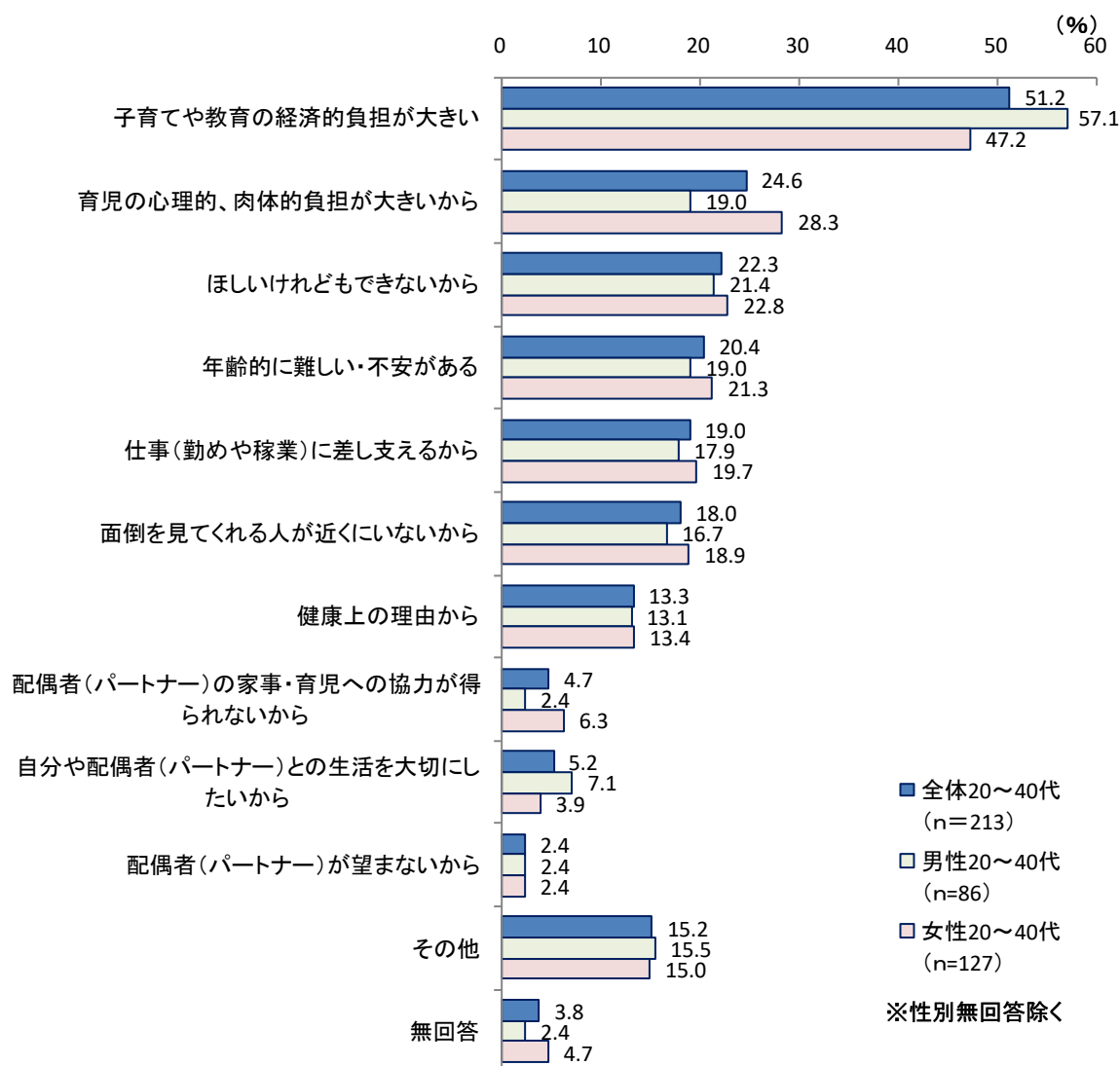
希望する子どもの数よりも実際の子どもの数が少ない理由は、「子育てや教育の経済的負担が大きい」と回答した人が 48.7%と圧倒的に多く、次いで「年齢的に難しい・不安がある」が 20.4%、「育児の心理的、肉体的不安が大きいから」が 19.9%となっている。

【全体】



20～40代を抽出してみると、「子育てや教育の経済的負担が大きいから」(51.2%)「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」(24.6%)が全体よりも比較的高くなっている。また、経済的負担については、男性の方が女性よりも10ポイント程度高い一方、心理的・肉体的負担については、女性の方が男性よりも10ポイント程度高くなっている。

【20～40代】



【古賀市の子育て環境】

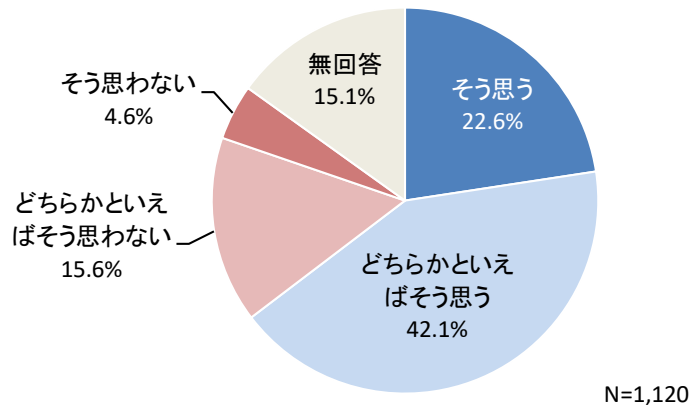
■古賀市で子育てをしたいかどうか

古賀市で子育てをしたい（「子育てをしてよかった」「子育てをしたかった」含む）かどうかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が42.1%と最も多く、次いで「そう思う」が22.6%と、古賀市での子育てを肯定的に捉えている人が64.7%となった。一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と否定的に捉えている人は約2割であった。

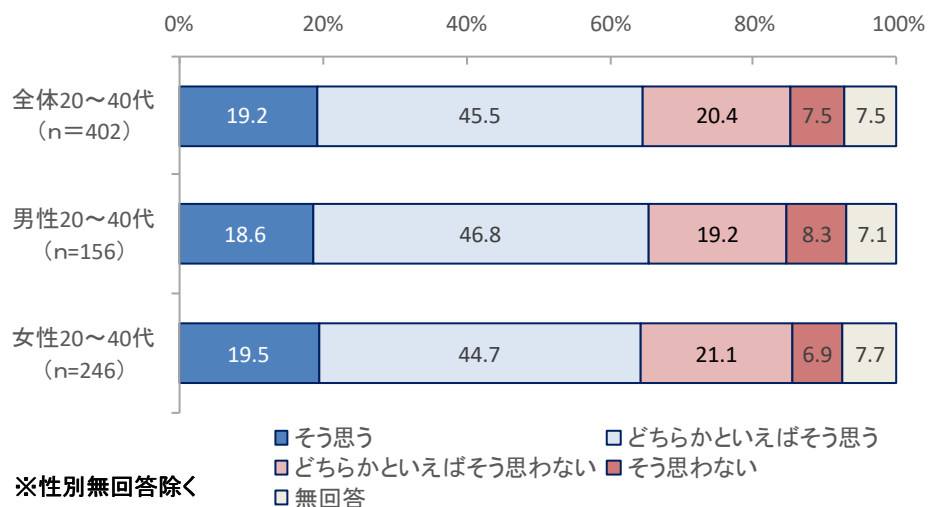
20～40代を抽出してみると、古賀市での子育てを肯定的に捉えている人の割合は全体と同じ64.7%であった。一方、「どちらかといえばそう思わない」（20.4%）、「そう思わない」（7.5%）と、古賀市での子育てを否定的に捉えている人の割合（27.9%）は、全体よりも8ポイント程度高くなっている。

校区別にみると、古賀西小学校区が8.4%と「そう思わない」の割合が比較的大きくなっている。

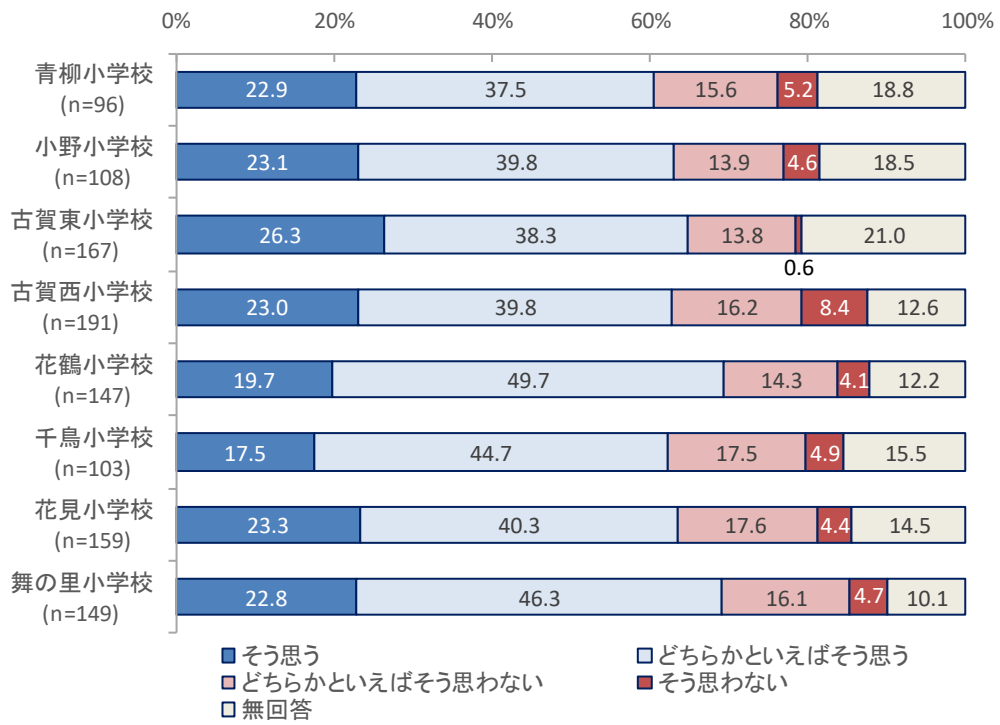
【全体】



【20～40代】



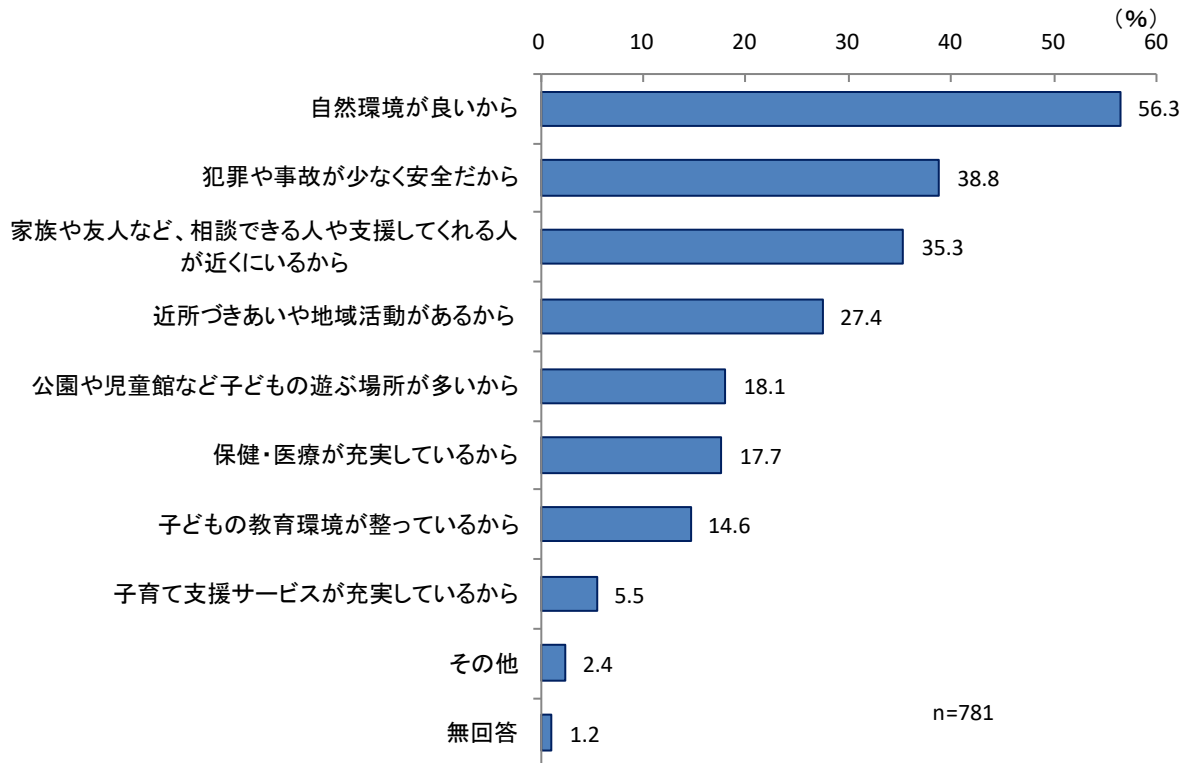
【校別】



■古賀市で子育てをしたい理由（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人）

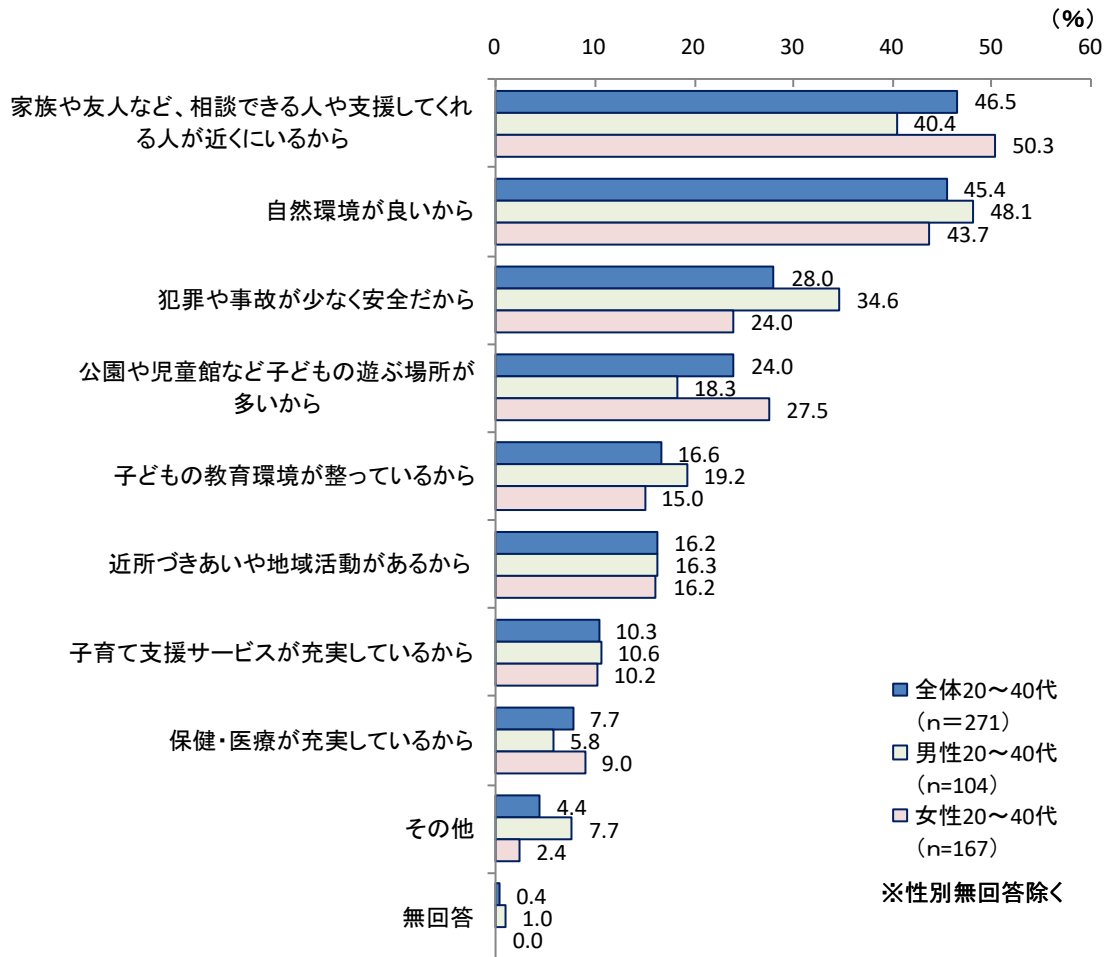
古賀市で子育てをしたい理由は、「自然環境が良いから」と回答した人が56.3%と最も多く、次いで「犯罪や事故が少なく安全だから」が38.8%、「家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから」が35.3%となっている。

【全体】



20～40代を抽出してみると、「家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから」(46.5%)が1位となっており、全体よりも11ポイント程度高くなっている。

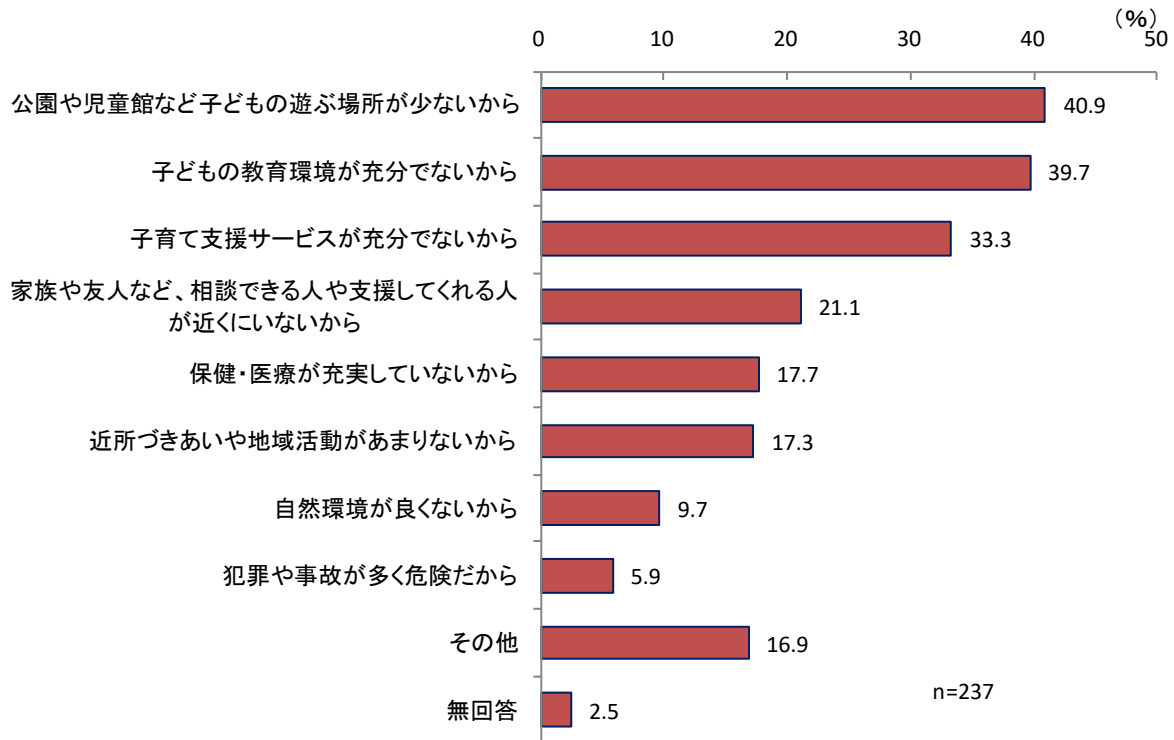
【20～40代】



■古賀市で子育てをしたいと思わない理由(「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した人)

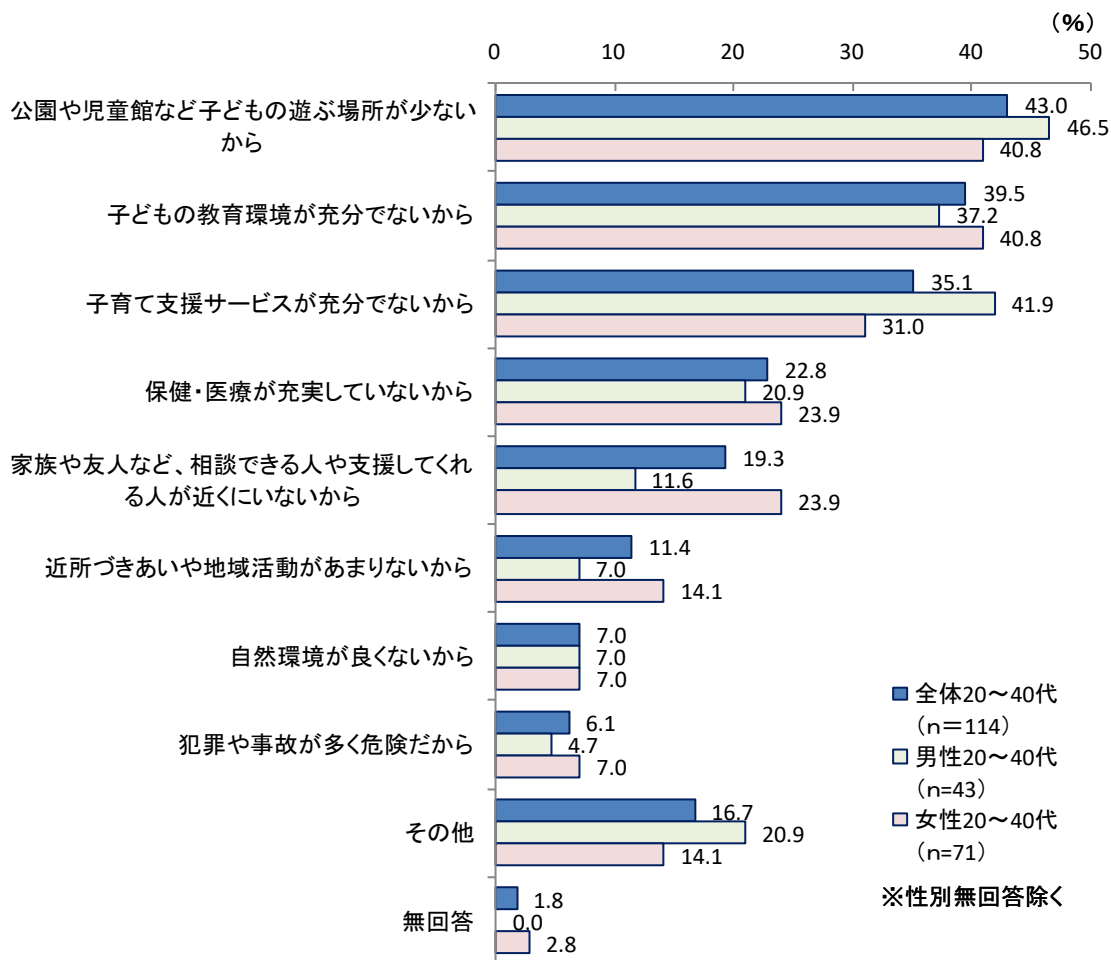
古賀市で子育てをしたいと思わない理由は、「公園や児童館など子どもの遊ぶ場所が少ないから」が40.9%と最も多く、次いで「子どもの教育環境が充分でないから」が39.7%、「子育て支援サービスが充分でないから」が33.3%となった。

【全体】



20～40代を抽出してみると、全体と順位の傾向はさほど変わらなかった。男女別にみると、「子育て支援サービスが充分でないから」(35.1%)は、男性(41.9%)が女性(31.0%)よりも11ポイント程度上回っている一方、「家族や友達など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいないから」(19.3%)は女性(23.9%)が男性(11.6%)を12ポイント程度上回っている。

【20～40代】

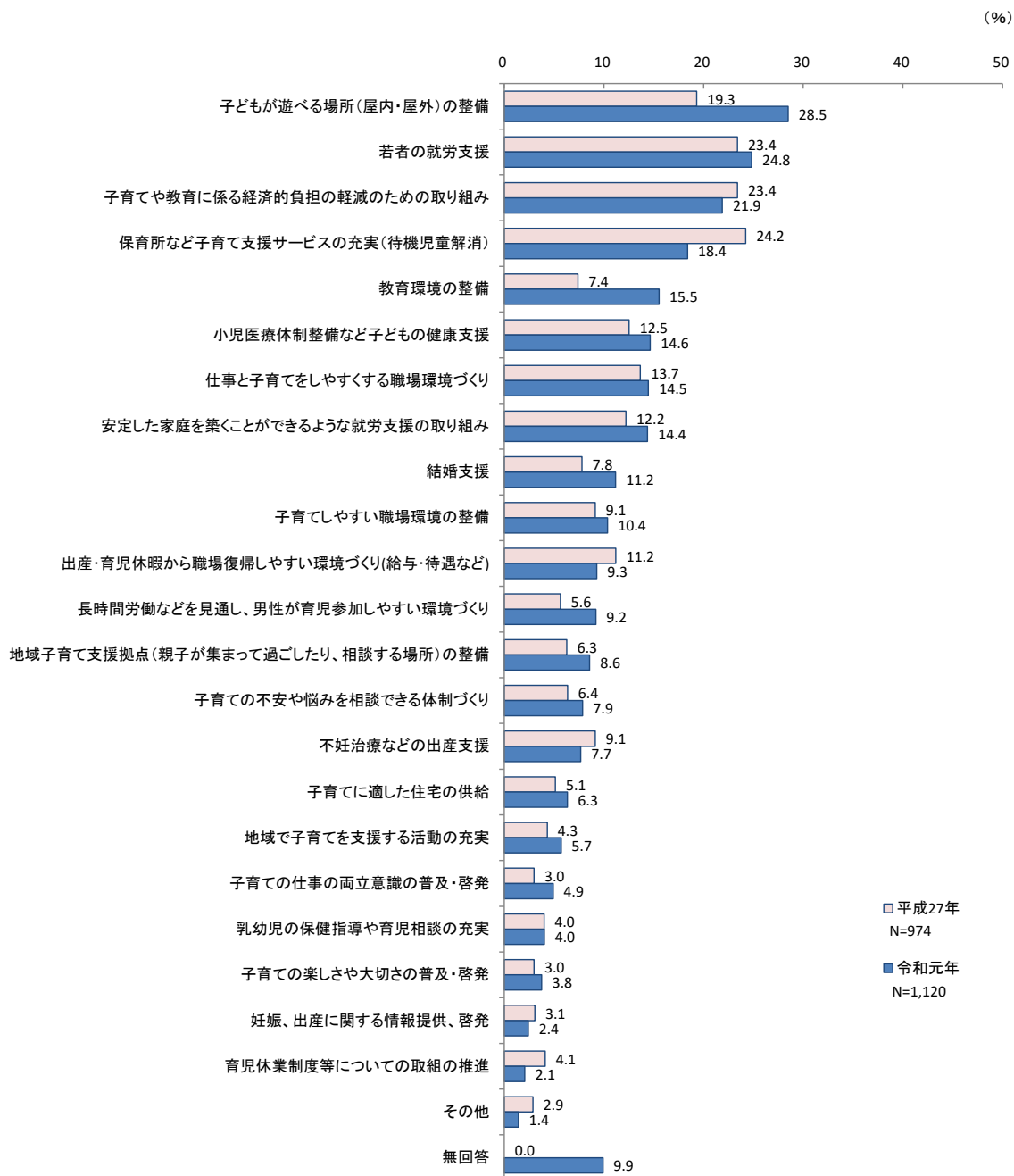


■行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援

行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援は、「子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備」と回答した人が 28.5%と最も多く、次いで「若者の就労支援」が 24.8%、「子育てや教育にかかる経済的負担の軽減のための取り組み」が 21.9%となっている。

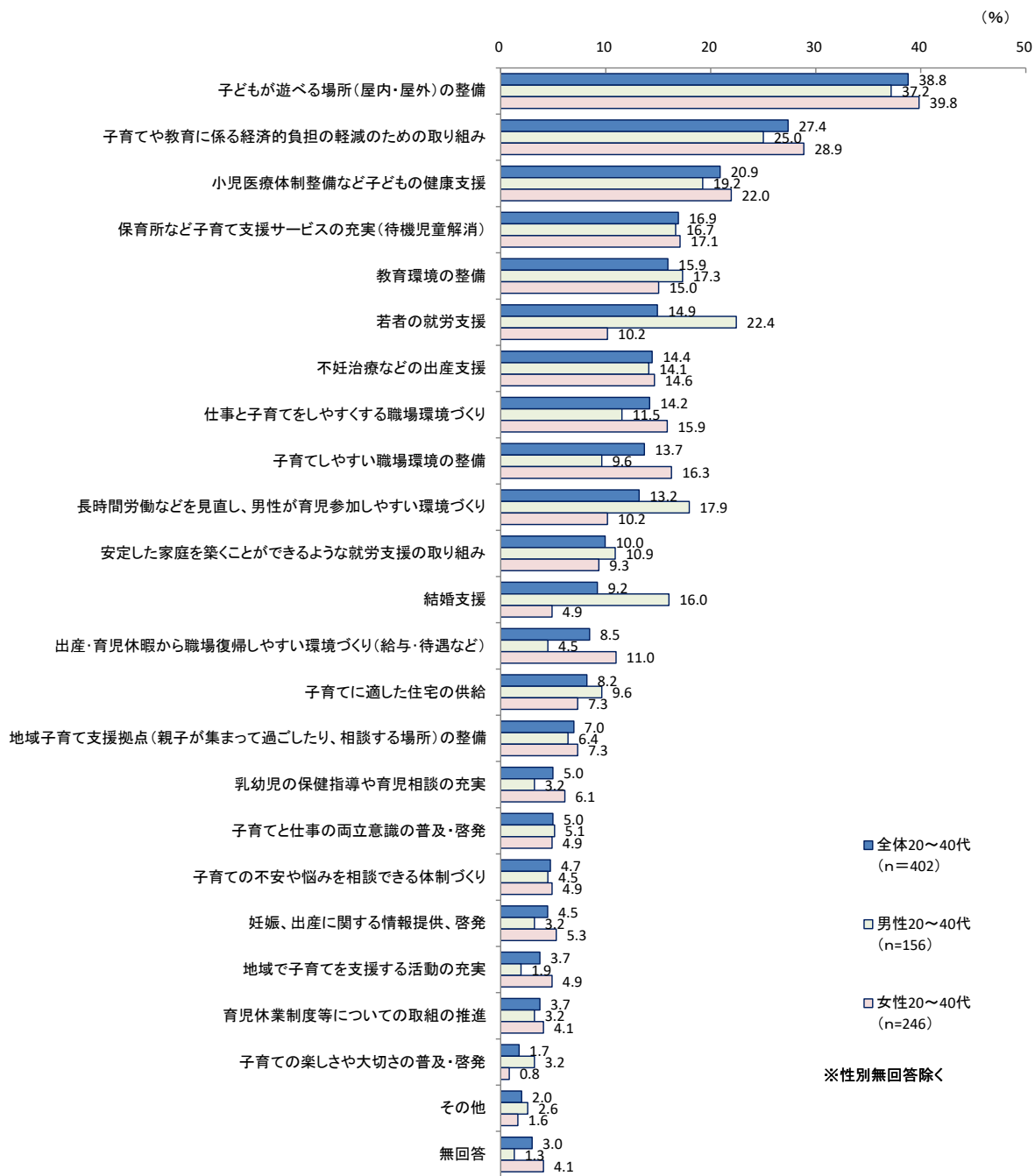
なお、平成 27 年調査よりも特にニーズが高くなっているのは、今回調査で最も多かった「子供が遊べる場所」の 9.2 ポイント増で、次いで「教育環境の整備」が 8.1 ポイント増となっている。一方、「保育園などの子育て支援サービスの充実（待機児童解消）」は▲5.8 ポイントと減少幅が最も大きかった。

【全体】



20～40代を抽出してみると、全体でも割合が最も大きかった「子供が遊べる場所（屋内・屋外）の整備」が全体よりもさらに10.3ポイント大きい38.8%となった。また「小児医療体制の整備など子どもの健康支援」（20.9%）、「不妊治療などの出産支援」（14.4%）などが全体よりも大きくなっている。

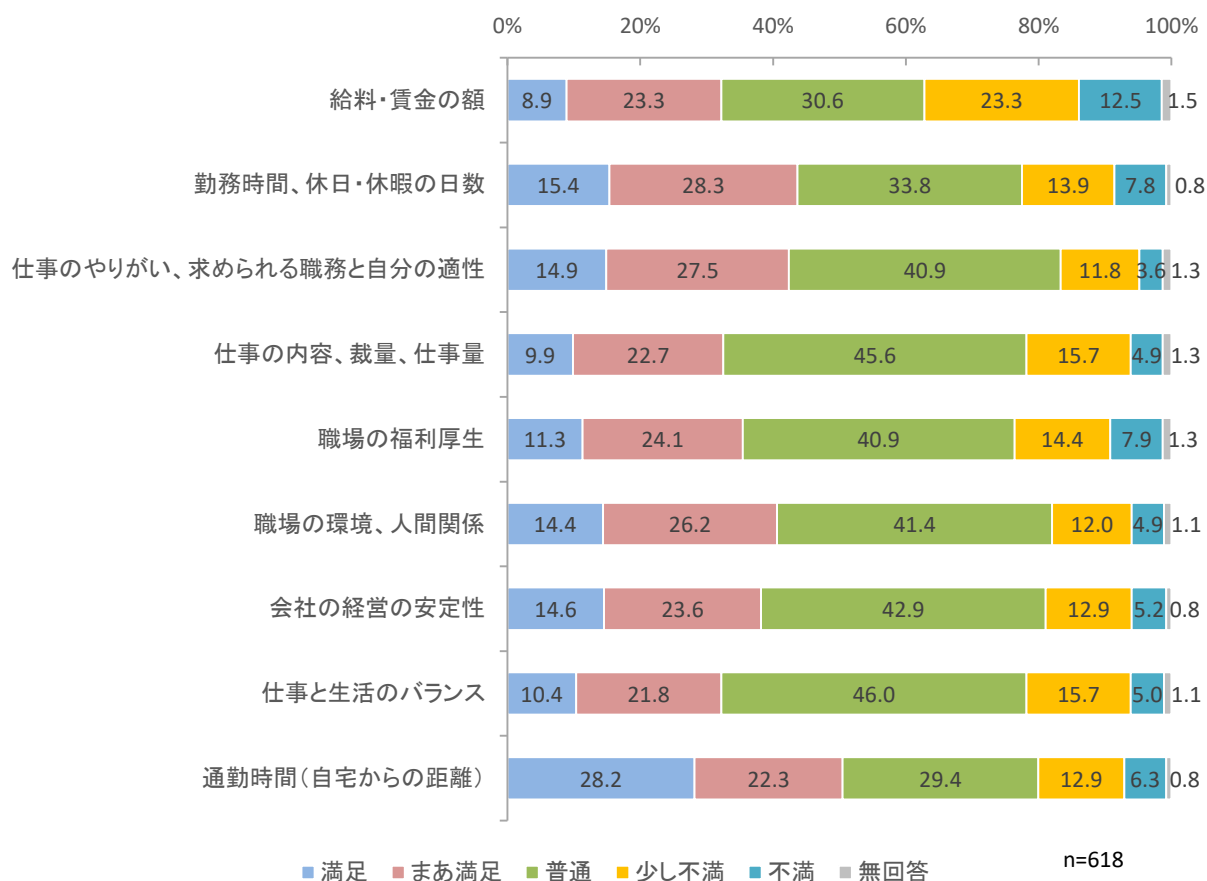
【20～40代】



(6) 仕事について

【仕事環境の満足度】

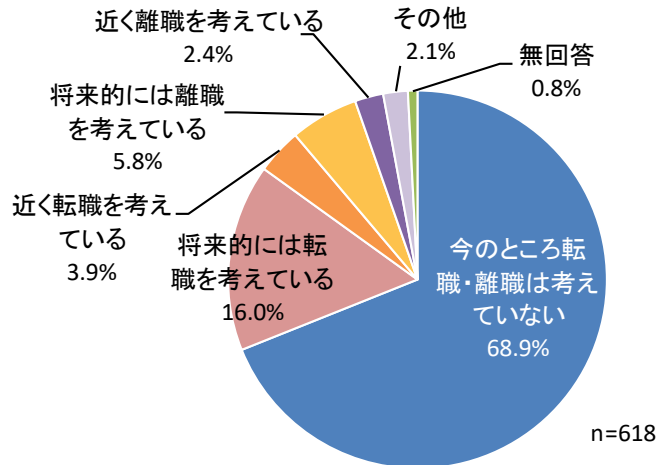
現在仕事をしている人の仕事環境の満足度（「満足」「まあ満足」の合計）をみると、「通勤時間（自宅からの距離）」が50.5%と最も高く、次いで「勤務時間、休日・休暇の日数」が43.7%、「仕事のやりがい、求められる職務と自分の適性」が42.4%となっている。一方、不満度（「少し不満」「不満」）については、「給与・賃金の額」が35.6%と最も高かった。



【転職・離職】

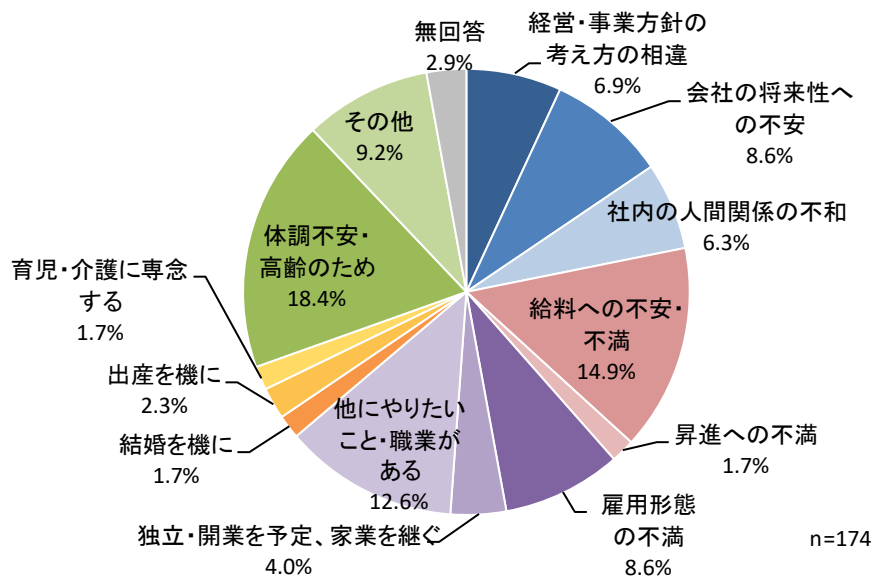
■将来的な転職・離職

将来的な転職・離職については、「今のところ転職・離職は考えてない」が68.9%と最も高く、次いで「将来的には転職を考えている」が16.0%となった。



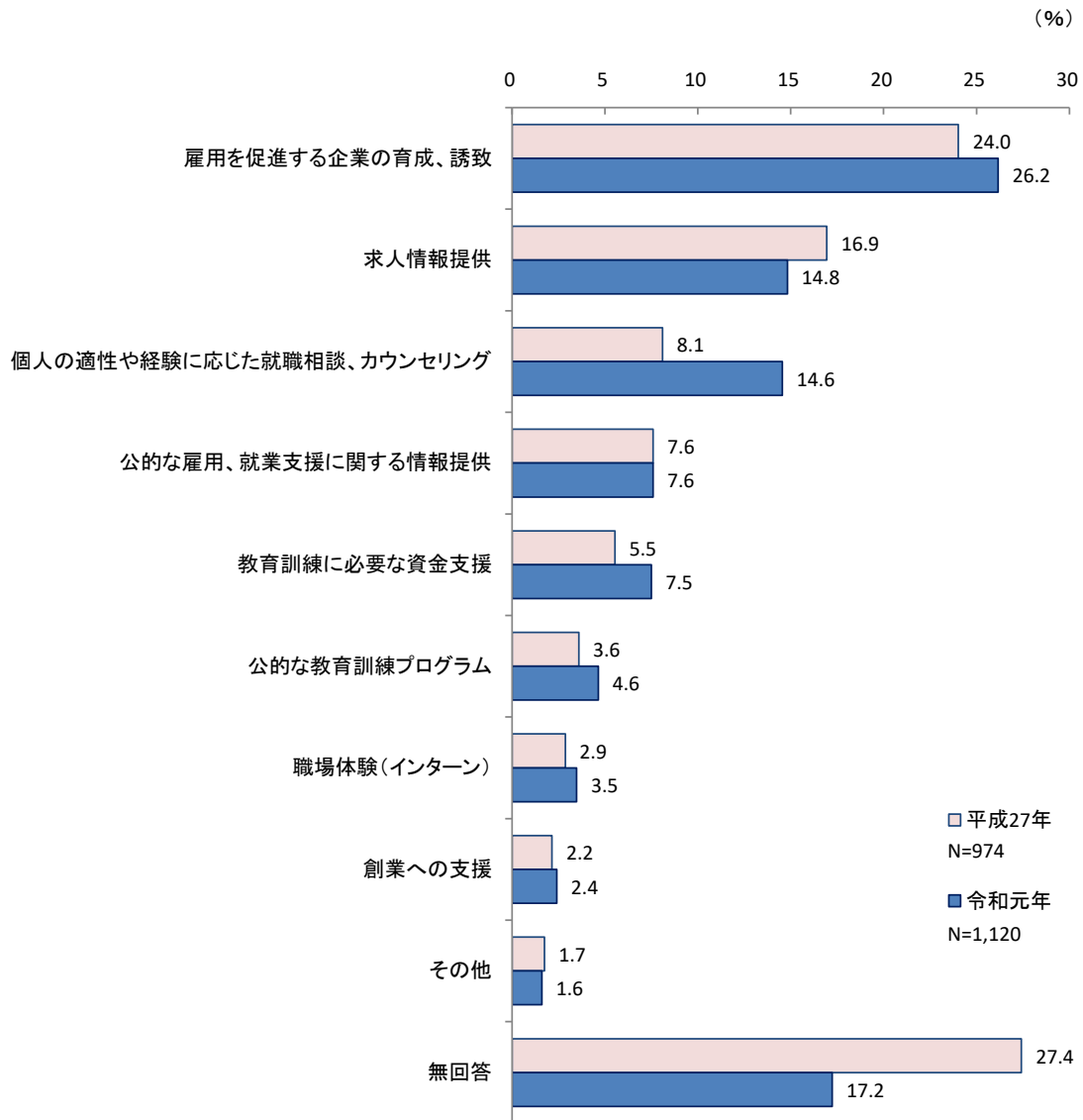
■転職・離職を考える理由

将来的な転職・離職を考える理由については、「体調不安・高齢のため」が18.4%と最も高く、次いで「給料への不安・不満」が14.9%、「他にやりたいこと・職業がある」が12.6%となった。



【今後充実して欲しい雇用対策】

今後充実して欲しい雇用対策は、「雇用を促進する企業の育成、誘致」が26.2%と最も多く、次いで「求人情報」が14.8%、「個人の適性や経験に応じた職場相談、カウンセリング」が14.6%となっている。なお、平成27年調査よりも特にニーズが高くなっているのは、「個人の適性や経験に応じた就職相談、カウンセリング」で6.5ポイント増となっている。

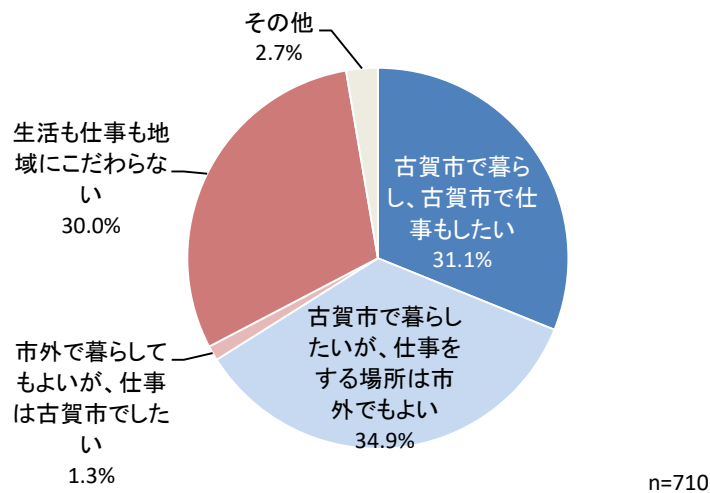


【古賀市での暮らしや仕事について】

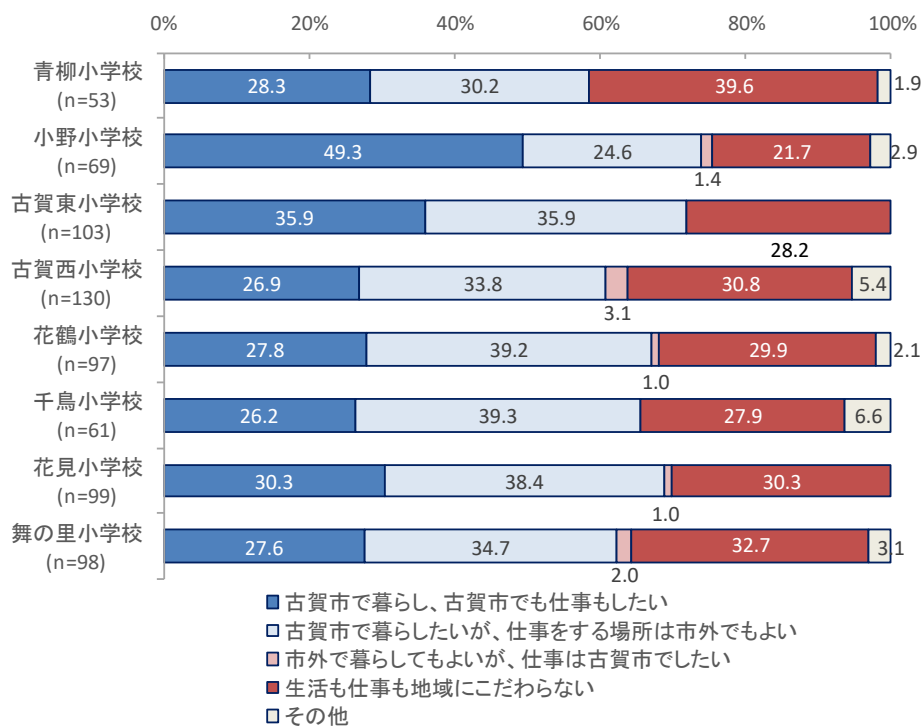
今後、古賀市での暮らしや仕事についての考えをみると、「古賀市で暮らしたいが、仕事をする場所は市外でも良い」が 34.9%、「古賀市で暮らし、古賀市で仕事もしたい」が 31.1%と、古賀市での暮らしを望む人が約 7 割となっている。校区別にみると、小野小学校区では 49.3%と特に「古賀市で暮らし、古賀市で仕事もしたい」と回答した割合が大きい。

なお、平成 27 年調査と比較すると、「古賀市で暮らし、古賀市で仕事もしたい」と回答した人が 3.7 ポイント増加している。

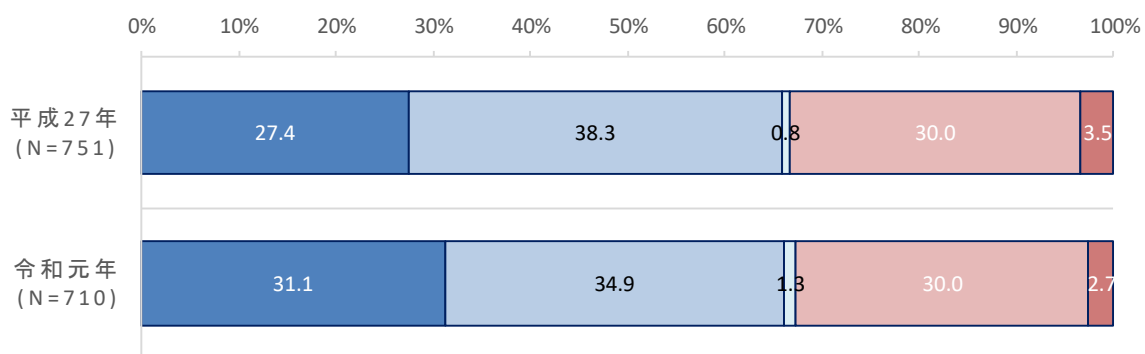
【全体】



【校区別】



(参考) 経年比較 平成 27 年調査



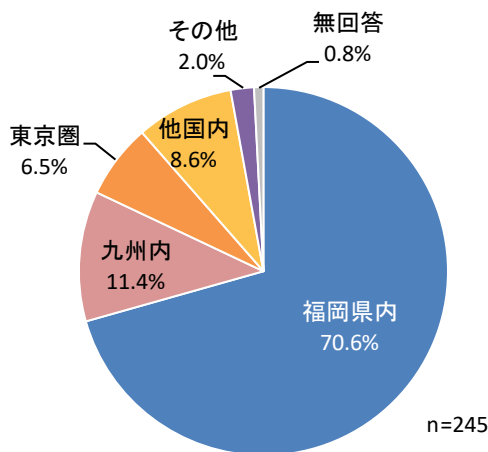
- 古賀市で暮らし、古賀市で仕事もしたい
- 古賀市で暮らしたいが、仕事をする場所は市外でもよい
- 市外で暮らしてもよいが、仕事は古賀市でしたい
- 生活も仕事も地域にこだわらない
- その他

(7) 転入者の状況（直近5年間の転入者）

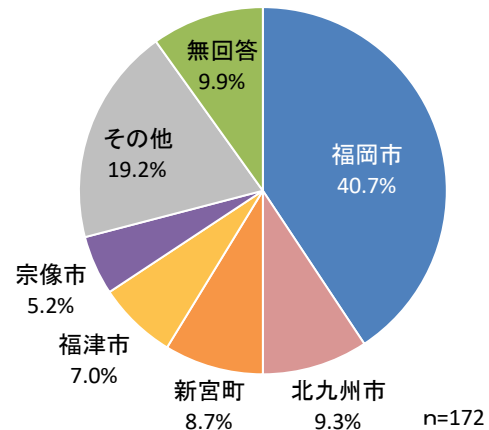
【転入前の住まい】

直近5年間に古賀市に転入した人についてみると、転入前の住まいは「福岡県内」が70.6%と最も多く、次いで「九州内」が11.4%、「東京圏」が6.5%となっている。また、「福岡県内」の内訳をみると、福岡市が40.7%と最も多く、次いで「北九州市」が9.3%、「新宮町」が8.7%となっている。

【転入前の住まい（全体）】

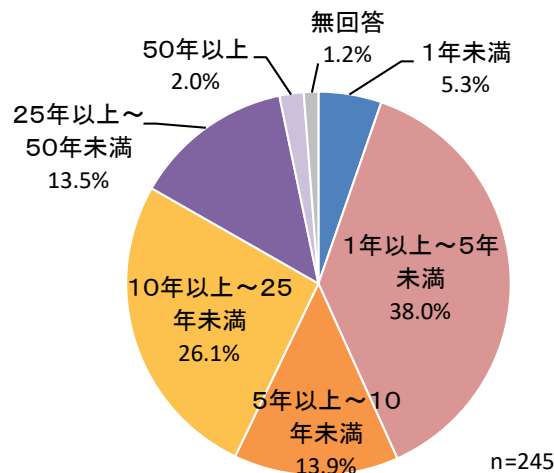


【転入前の住まい（福岡県内）】



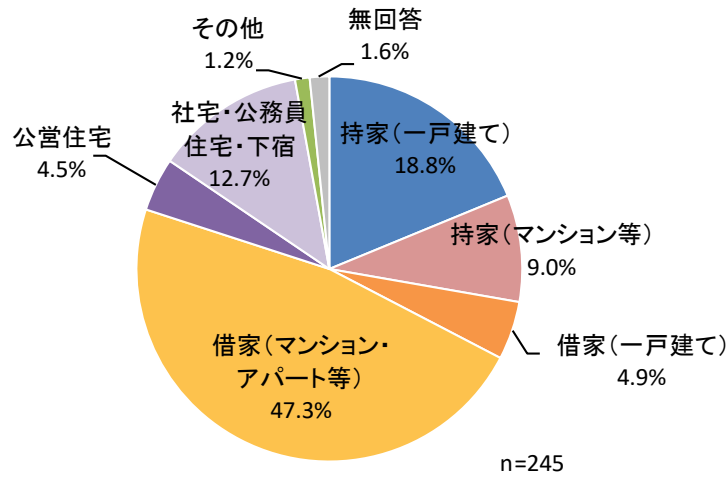
【転入前の居住地の居住年数】

転入前の居住地の居住年数は、「1年以上～5年未満」が38.0%と最も多く、次いで「10年以上～25年未満」が26.1%となっている。



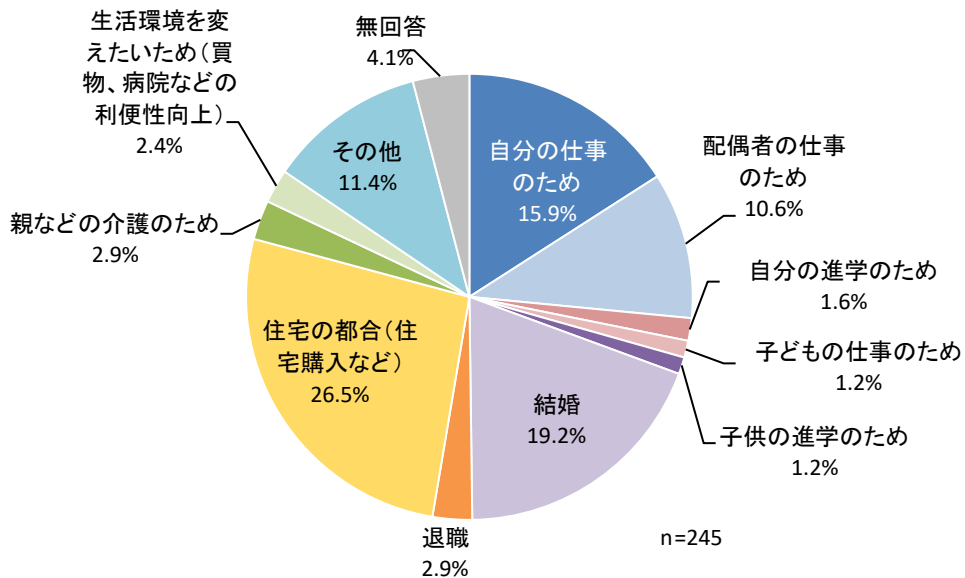
【転居前の居住形態】

転居前の居住形態は、「借家（マンション・アパート等）」が47.3%と最も多く、次いで「持ち家（一戸建て）」が18.8%となっている。



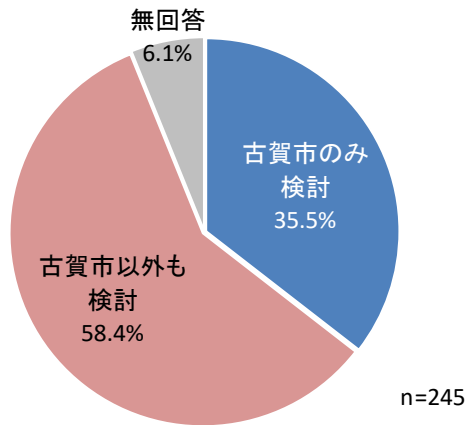
【主な転居の理由】

主な転居の理由は、「住宅の都合（住宅購入など）」が26.5%と最も多く、次いで「結婚」が19.2%、「自分の仕事のため」が15.9%となっている。



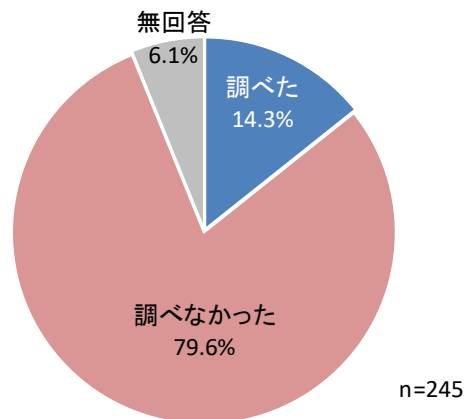
【古賀市以外の検討候補】

転居するにあたり古賀市以外の検討候補の有無についてみると、「古賀市のみ検討」が35.5%、「古賀市以外も検討」が58.4%と、他地域と比較して古賀市を選んでいる人が約6割となった。



【古賀市の行政サービスの確認】

転居するにあたり古賀市での行政サービスの確認を行ったかどうかについてみると、「調べた」が14.3%、「調べなかった」が79.6%と、行政サービスの有無が転居先の決定にあまり影響を与えていない状況がわかる。



<p>9-2. 通勤・通学先の所在地 [一つ選択]</p>	<p>前頁、9-1 で1か2「通勤・通学をしている」と回答した方に伺います。</p> <p>1. 古賀市 2. 福岡市 3. 北九州市 4. 福津市 5. 宗像市 6. 新宮町 7. その他 (_____ 県 _____ 市・町・村)</p>
<p>9-3. 通勤・通学の交通手段 [主なもの一つ選択]</p>	<p>前頁、9-1 で1か2「通勤・通学をしている」と回答した方に伺います。</p> <p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族などの送迎) 6. バス 7. 鉄道 8. タクシー 9. 職場、学校などの送迎車 10. その他 (_____)</p>
<p>10. 日用品や食料品等の主な買物先 [一つ選択]</p>	<p>1. 普段買物をしない 2. 古賀市 3. 福岡市 4. 北九州市 5. 福津市 6. 宗像市 7. 新宮町 8. その他 (市町村名: _____)</p>
<p>11. 日用品や食料品等の主な買い物の交通手段 [主なもの一つ選択]</p>	<p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族などの送迎) 6. バス 7. 鉄道 8. タクシー 9. 施設などの送迎車 10. その他 (_____)</p>
<p>12. 衣料品や家電等の主な買い物先 [一つ選択]</p>	<p>1. 普段買物をしない 2. 古賀市 3. 福岡市 4. 北九州市 5. 福津市 6. 宗像市 7. 新宮町 8. その他 (市町村名: _____)</p>
<p>13. 衣料品や家電等の主な買い物の交通手段 [主なもの一つ選択]</p>	<p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 (自分で運転) 5. 自家用車 (家族などの送迎) 6. バス 7. 鉄道 8. タクシー 9. 施設などの送迎車 10. その他 (_____)</p>
<p>14. 地域活動への参加 (自治会、子ども会、清掃、夜間パトロールなど) (過去1年間) [一つ選択]</p>	<p>1. 積極的に参加している (年5回以上) 2. ととき参加している (年1~4回程度) 3. 現在参加していないが、今後参加したい 4. 現在参加しておらず今後も参加しない</p>
<p>15. 地域活動に参加しない理由 [一つ選択]</p>	<p>↑ 上記、14. で4と回答した方にその理由を伺います。</p> <p>1. 地域活動を行う時間がない 2. 地域活動に関する情報が身近にない 3. 興味ある行事が行われない 4. 地域活動を行う体力がない 5. 地域との関わりがわずらわしい 6. その他 (_____)</p>

Ⅱ. 古賀市での暮らし・まちづくりについておうかがいします。
それぞれの選択肢ではまるものに○をつけてください。

問Ⅱ-1 あなたは、ご自身の生活を通して市の施策をどのように感じていますか。1から33の全ての質問について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

番号	質問内容	選択肢				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
	記入例 右の欄に○印をつけてください。	1	2	3	4	5
1	農林業の基盤(担い手確保、農地の集積など)が整備されている 市の取組 新規就農支援、ほ場整備、集落営農化・法人化支援 など	1	2	3	4	5
2	農業の高付加価値化(ブランド化、6次産業化など)が進んでいる 市の取組 スイーツコーンやあまおうなどのブランド化、販路拡大や特産品PR など	1	2	3	4	5
3	中心市街地の賑わいが形成されている 市の取組 JR古賀駅周辺の商業活性化支援、JR各駅前の整備や再開発の検討 など	1	2	3	4	5
4	企業誘致の支援、起業支援などによる産業振興が充実している 市の取組 古賀物流団地や玄壇園の開発、工業団地周辺の土地利用転換、商工会と連携した起業支援 など	1	2	3	4	5
5	魅力ある観光地が形成できている 市の取組 薬王寺温泉周辺の活性化、なの花祭りの支援、広域連携によるPR など	1	2	3	4	5
6	環境教育・美化活動など、環境保全の取組が進んでいる 市の取組 古賀市環境市民会(ぐりめぐりん古賀)との共働の取組など	1	2	3	4	5
7	ごみの減量化・資源化や省エネなどの取組が進んでいる 市の取組 3R(リユース・リデュース・リサイクル)の推進、再生可能エネルギー等による地球温暖化対策の取組 など	1	2	3	4	5
8	小学校・中学校における教育内容や教育施設などが充実している 市の取組 少人数学級の推進、多様な人的配置による児童生徒の支援、外国語教育・キャリア教育の推進 など	1	2	3	4	5
9	生涯にわたり学習・活動ができる環境が整っている 市の取組 リーバスパラザが交流館の整備と利用促進、学校図書館市民解放、家庭教育支援の実施 など	1	2	3	4	5
10	国際交流・多文化共生の取組が進んでいる 市の取組 公募型補助金による支援、オリンピックキャンプの誘致、日本語教室の実施等による在住外国人支援 など	1	2	3	4	5
11	青少年を育む環境が充実している 市の取組 アンビシャス広場・児童センターにおける子どもの居場所づくり、地域における通学合宿・寺子屋の支援 など	1	2	3	4	5
12	文化芸術について鑑賞・参加・創造する機会が充実している 市の取組 古賀市文化芸術振興計画の策定・推進、文化芸術の振興に係る人材育成 など	1	2	3	4	5

質問内容		選択肢				
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
13	ふるさと古賀の歴史・遺産に親しむ機会が充実している	1	2	3	4	5
	市の取組 船原古墳をはじめとした文化財の保存・公開・活用、市史編さんの準備 など					
14	幅広くスポーツを楽しめる環境が整っている	1	2	3	4	5
	市の取組 スポーツ指導者の育成、スポーツ環境の充実、社会体育施設の運営・維持管理 など					
15	良好な市街地や住環境が形成されている	1	2	3	4	5
	市の取組 高田地区の土地区画整理事業、景観計画の策定・推進、空き家対策の実施 など					
16	鉄道やバスなど市内の公共交通機関の利便性が良い	1	2	3	4	5
	市の取組 西鉄バス古賀市内線の継続運行、公共施設等連絡バス「コガバス」の運行開始 など					
17	生活に密着した主要な道路、広域交通に利便性の良い道路が整備されている	1	2	3	4	5
	市の取組 浜大塚線・栗原水上線ほか「東西」幹線道路の整備、道路・橋梁の改良・長寿命化 など					
18	水道を安心して使うことができる	1	2	3	4	5
	市の取組 水道施設の計画的な更新、水道料金の改定 など					
19	生活排水などの処理が適正に行われている	1	2	3	4	5
	市の取組 公共下水道・農業集落排水事業の推進、合併処理浄化槽設置の支援 など					
20	消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	5
	市の取組 消防団活動の推進・活性化、小児救急医療体制の整備、粕屋北部消防本部との連携 など					
21	各種災害に対する体制が整っている	1	2	3	4	5
	市の取組 総合防災マップの配布・活用、防災訓練の実施、小中学校等公共施設の耐震改修 など					
22	犯罪や交通事故を抑止する対策が進められている	1	2	3	4	5
	市の取組 防犯カメラの設置、犯罪情報の提供強化、交通安全教室の実施 など					
23	地域ぐるみで健康づくりの取組が進んでいる	1	2	3	4	5
	市の取組 ヘルス・ステーションの推進、食育の推進、市民ウォーキング・骨密度測定等による健康意識の向上 など					
24	地域の医療・保健体制が整っている	1	2	3	4	5
	市の取組 特定健診・がん検診など健診事業の推進、休日・夜間救急医療体制の維持、かかりつけ医の普及啓発 など					
25	子育て支援が充実している	1	2	3	4	5
	市の取組 保育所定員増による待機児童対策、休日保育・病児保育の導入、子育て世代包括支援センターの設置 など					
26	高齢者が安心して生活できる環境が整っている	1	2	3	4	5
	市の取組 地域包括支援センターによる支援、介護予防サポーター・認知症サポーター等の人材育成 など					

質問内容	選択肢				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
27 障がい者の福祉サービスや社会参加への取組が進んでいる <small>市の取組 障害者生活支援センター「咲」における支援、職業紹介所や関係機関と連携した就労支援 など</small>	1	2	3	4	5
28 生活トラブル解消、就労支援など生活安定のための体制が充実している <small>市の取組 無料法律相談・消費者生活相談の実施、市役所内無料職業紹介所の充実、生活困窮者の自立支援 など</small>	1	2	3	4	5
29 すべての市民の人権が尊重されている <small>市の取組 「同和問題を考える市民のつどい」「いのち輝くまち☆こが」の開催等による人権のまちづくりの推進 など</small>	1	2	3	4	5
30 社会のあらゆる場面において男女共同参画が進んでいる <small>市の取組 男女共同参画推進のための啓発、DV対策、女性の起業・キャリアアップの支援 など</small>	1	2	3	4	5
31 市民や多様な主体が参加したまちづくりが進んでいる <small>市の取組 自治会や校区コミュニティにおける活動の活性化、つながりひろばでの相談や情報発信による支援 など</small>	1	2	3	4	5
32 市政情報や市の魅力が十分に発信されている <small>市の取組 広報こがの発行、市公式HPのリニューアル、SNSを活用した情報発信、マスコミを通じた広報活動 など</small>	1	2	3	4	5
33 市民のニーズに対応した行政サービスが効率的に提供されている <small>市の取組 効率的な行財政運営、公共施設の計画的な維持管理、職員の資質の向上、広域行政・定住化の推進 など</small>	1	2	3	4	5

問Ⅱ-2 「問Ⅱ-1」の1から33の質問内容のうち、古賀市のまちづくりで何が重要だと思いますか。重要であると思う項目を5つ選んで、重要度の高いものから番号を記入してください。

重要度1位	重要度2位	重要度3位	重要度4位	重要度5位

問Ⅱ-3 将来の古賀市がどのようなまちになることを望みますか。(2つまで)

1. 美しい自然環境に包まれたまち 2. 産業に活気があり働きやすいまち 3. 生活環境が整い便利で快適に暮らせるまち 4. 地域の保健・医療体制が整ったまち 5. 高齢者・障がい者などが健康で、生きがいをもって暮らせるまち 6. 防災・防犯・交通安全に配慮した安全なまち 7. 子どもを安心して産み育てられるまち 8. 教育体制が充実したまち 9. スポーツや芸術・文化活動が盛んなまち 10. 市民が参加した地域づくりが進んでいるまち 11. 多くの人が訪れる観光・交流のまち 12. その他 ()

問Ⅱ-4 人口維持や地域の活性化のために、他の地域からの移住者を受け入れることについて、あなたはどのような考えを持っていますか。(1つのみ)

1. 歓迎する	2. どちらかという歓迎する
3. どちらかという歓迎しない	4. 歓迎しない
5. その他 ()	

上記、問Ⅱ-4で「1. 歓迎する」「2. どちらかという歓迎する」と回答し方にお伺いします。

問Ⅱ-5 移住者を歓迎する理由は何ですか。(1つのみ)

1. 地域に活気が生まれる	2. 人口減少に歯止めがかかる
3. 自治会・子供会など地域活動の担い手ができる	4. 地域産業の担い手ができる
5. 雇用や税収など、地域への経済波及効果が期待できる	
6. その他 ()	

Ⅲ. 古賀市の住みやすさについておうかがいします。

それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

問Ⅲ-1 現在の古賀市の「住みやすさ」について、どのようにお感じですか。(1つのみ)

1. 住みやすい	3. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みやすい	4. 住みにくい

「1」または「2」と回答された方

「3」または「4」と回答された方

その理由に当てはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

その理由に当てはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

1. 郷土・ふるさとである
2. 人情が厚い
3. 自然環境が良い
4. 働きやすい環境が整っている
5. 物価が安い
6. 日常の買い物が便利
7. 交通の便が良い
8. 医療・福祉が充実している
9. 子育て環境・支援が充実している
10. 教育環境が整っている
11. 大きな災害が少なく安心できる
12. 治安が良い
13. 観光資源や娯楽施設が豊富である
14. コミュニティが充実している
15. その他 ()

1. 郷土・ふるさとでない
2. 人情が薄い
3. 自然環境が悪い
4. 働きやすい環境が整っていない
5. 物価が高い
6. 日常の買い物が不便
7. 交通の便が悪い
8. 医療・福祉が充実していない
9. 子育て環境・支援が充実していない
10. 教育環境が整っていない
11. 災害が起きたとき不安である
12. 治安が悪い
13. 観光資源や娯楽施設に魅力が少ない
14. コミュニティが充実していない
15. その他 ()

問Ⅲ-2 あなたはこれからも古賀市に住み続けたいと思いますか。(1つのみ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所に移りたい |
| 3. 近くの市町村へ移りたい | 4. 県内のどこかへ移りたい |
| 5. 県外に移りたい | 6. とくに考えていない |

上記、問Ⅲ-2で「2～5」に○印をつけられた方におたずねします。

問Ⅲ-3 今の場所から移りたいと思う主な理由は何ですか。(3つまで)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 就労の機会がある場所に移りたいから |
| 2. 商売や事業経営に有利な場所に移りたいから |
| 3. 勤務地に近い場所に移りたいから |
| 4. 鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所へ移りたいから |
| 5. 買い物が便利な場所へ移りたいから |
| 6. 娯楽や余暇を過ごす場がある場所へ移りたいから |
| 7. 公害やごみ処理など衛生環境が良い場所へ移りたいから |
| 8. 道路、歩道の整備がされている場所へ移りたい |
| 9. 上下水道が完備されている場所へ移りたいから |
| 10. 災害の不安が無いところに移りたいから |
| 11. 医療体制が整備されている場所に移りたいから |
| 12. 福祉サービスが整っている場所に移りたいから |
| 13. 教育環境が整っている場所に移りたいから |
| 14. 住宅が手狭など居住環境を変えたいから |
| 15. 親(子)から独立した住まいを持ちたいから |
| 16. しきたり、近所づきあいなどを気にせず暮らせる場所に移りたいから |
| 17. 親(子)の近くに住みたいから |
| 18. その他 () |

IV. 結婚・子育てについておうかがいします。

それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

問Ⅳ-1 あなたは、結婚していますか。(1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| 1. 結婚している | 2. 独身(未婚) | 3. 独身(婚姻歴あり) |
|-----------|-----------|--------------|

問Ⅳ-2 現在の子どもの有無に関わらず、あなたの希望する(希望していた)子どもの人数は何人くらいですか。また、実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数は何人くらいですか。

希望する(希望していた) 子どもの人数	人	実際の(実際に持つ予定の) 子どもの人数	人
------------------------	---	-------------------------	---

前頁、問Ⅳ-2で「希望する(希望していた)子どもの人数」より「実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数」の方が少ない方にお伺いします。

問Ⅳ-3 「実際の(実際に持つ予定の)子どもの人数」の方が少ない理由として、どのようなことが考えられると思いますか。(3つまで)

【考えられること】	1. 子育てや教育の経済的負担が大きい 2. 自分や配偶者(パートナー)との生活を大切にしたいから 3. 育児の心理的、肉体的負担が大きいから 4. 面倒を見てくれる人が近くにいないから 5. 配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから 6. 配偶者(パートナー)が望まないから 7. 仕事(勤めや稼業)に差し支えるから 8. ほしいけれどもできないから 9. 健康上の理由から 10. 年齢的に難しい・不安がある 11. その他()
-----------	---

全員にお伺いします。

問Ⅳ-4 あなたは、古賀市で子育てをしたい(または、「子育てをして良かった」もしくは「子育てをしたかった」と)思いますか。(1つのみ)

1. そう思う	3. どちらかといえばそう思わない
2. どちらかといえばそう思う	4. そう思わない

「1」または「2」と回答された方

「3」または「4」と回答された方

その理由に当てはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

1. 自然環境が良いから 2. 犯罪や事故が少なく安全だから 3. 近所づきあいや地域活動があるから 4. 公園や児童館など子どもの遊ぶ場所が多いから 5. 子育て支援サービスが充実しているから 6. 子どもの教育環境が整っているから 7. 家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいるから 8. 保健・医療が充実しているから 9. その他()
--

その理由に当てはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

1. 自然環境が良くないから 2. 犯罪や事故が多く危険だから 3. 近所づきあいや地域活動があまりないから 4. 公園や児童館など子どもが遊ぶ場所が少ないから 5. 子育て支援サービスが充分でないから 6. 子どもの教育環境が充分でないから 7. 家族や友人など、相談できる人や支援してくれる人が近くにいないから 8. 保健・医療が充実していないから 9. その他()
--

問IV-5 行政に取り組んで欲しい結婚・子育て支援は何ですか。(3つまで)

1. 若者の就労支援
2. 結婚支援
3. 妊娠、出産に関する情報提供、啓発
4. 不妊治療などの出産支援
5. 乳幼児の保健指導や育児相談の充実
6. 子どもが遊べる場所（屋内・屋外）の整備
7. 地域子育て支援拠点（親子が集まって過ごしたり、相談する場所）の整備
8. 子育ての不安や悩みを相談できる体制づくり
9. 保育所など子育て支援サービスの充実（待機児童解消）
10. 教育環境の整備
11. 小児医療体制整備など子どもの健康支援
12. 子育てに適した住宅の供給
13. 子育てしやすい職場環境の整備
14. 子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み
15. 地域で子育てを支援する活動の充実
16. 子育ての楽しさや大切さの普及・啓発
17. 子育てと仕事の両立意識の普及・啓発
18. 長時間労働などを見直し、男性が育児参加しやすい環境づくり
19. 仕事と子育てをやすくする職場環境づくり
20. 安定した家庭を築くことができるような就労支援の取り組み
21. 育児休業制度等についての取組の推進
22. 出産・育児休暇から職場復帰しやすい環境づくり（身分・給与・待遇など）
23. その他（ ）

V. 仕事についておうかがいします。

それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

現在仕事をしている方のみと全員にお伺いする設問があります。該当する設問に回答下さい。

現在仕事をしている方のみお答えください。

問V-1 現在、自分の仕事に関してどの程度満足していますか。(各項目1つのみ)

質問内容	選択肢				
	満足	まあ満足	普通	少し不満	不満
記入例 右の欄に○印をつけてください。	1	2	3	4	5
1. 給料・賞金の額	1	2	3	4	5
2. 勤務時間、休日・休暇の日数	1	2	3	4	5
3. 仕事のやりがい、求められる職務と自分の適正	1	2	3	4	5
4. 仕事の内容、裁量、仕事量	1	2	3	4	5
5. 職場の福利厚生	1	2	3	4	5
6. 職場の環境、人間関係	1	2	3	4	5
7. 会社の経営の安定性	1	2	3	4	5
8. 仕事と生活のバランス	1	2	3	4	5
9. 通勤時間（自宅からの距離）	1	2	3	4	5

現在仕事をしている方のみお答えください。

問V-2 現在ならびに将来、転職・離職を考えていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 今のところ転職・離職は考えていない | 2. 将来的には転職を考えている |
| 3. 近く転職を考えている | 4. 将来的には離職を考えている |
| 5. 近く離職を考えている | |
| 6. その他 () | |

* 将来的に漠然と再就職を考えている場合でも、再就職までの期間の目途が立っていない場合は、離職とします。

上記、問V-2で2～5の「転職」「離職」のいずれかを考えていると回答した方にお伺いします。

問V-3 転職・離職を考える理由は何ですか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経営・事業方針の考え方の相違 | 2. 会社の将来性への不安 |
| 3. 社内の人間関係の不和 | 4. 給料への不安・不満 |
| 5. 昇進への不満 | 6. 雇用形態の不満 |
| 7. 独立・開業を予定、家業を継ぐ | 8. 他にやりたいこと・職業がある |
| 9. 結婚を機に | 10. 出産を機に |
| 11. 育児・介護に専念する | 12. 体調不安・高齢のため |
| 13. その他 () | |

Ⅶ. 古賀市へ直近5年間に転入された方におうかがいします。
それぞれの選択肢であてはまるものに○をつけてください。

1. 転入前のお住まいの所在地 [一つ選択] ※選択肢に応じ詳細も記載してください	<p>※選択肢に応じて、() 内の項目も合わせて記載してください。</p> <p>1. 福岡県内(市町村名:)) 2. 九州内(県名:)) 3. 東京圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)) 4. 他国内(道府県名:)) 5. その他(具体的に))</p>
2. 転入前の居住地の居住年数 [一つ選択]	<p>1. 1年未満 2. 1年以上～5年未満 3. 5年以上～10年未満 4. 10年以上～25年未満 5. 25年以上～50年未満 6. 50年以上</p>
3. 転居前の居住形態 [一つ選択]	<p>【転居前の住宅所有】</p> <p>1. 持家(一戸建て) 2. 持家(マンション等) 3. 借家(一戸建て) 4. 借家(マンション・アパート等) 5. 公営住宅 6. 社宅・公務員住宅・下宿 7. その他())</p>
4. 主な転居の理由 [一つ選択] ※選択肢に応じ詳細も記載してください	<p>※選択肢に応じて、() 内の項目も合わせて○をつけてください。</p> <p>1. 自分の仕事のため(就職・転職・転勤) 2. 配偶者の仕事のため(就職・転職・転勤) 3. 自分の進学のため(高校・短大・大学・専門学校) 4. 子どもの仕事のため(就職・転職・転勤) 5. 子どもの進学のため(高校・短大・大学・専門学校) 6. 結婚 7. 退職 8. 住宅の都合(住宅購入など) 9. 親などの介護のため 10. 生活環境を変えたいため(買物、病院などの利便性向上) 11. その他())</p>
5. 古賀市以外の検討候補の有無 [一つ選択]	<p>※転居検討時、他の市町村も候補にあがっていましたか?</p> <p>1. 古賀市のみ検討 2. 古賀市以外も検討(市町村名:))</p>
6. 古賀市の行政サービス等の確認 [一つ選択] ※選択肢に応じ詳細も記載してください	<p>※転居検討時、古賀市の行政サービス内容を確認されましたか?</p> <p>1. 調べた(調べた内容)) (情報源)) 2. 調べなかった(理由))</p>
7. 今回の転入以前での古賀市内での居住の有無 [一つ選択] ※選択肢に応じ詳細も記載してください	<p>1. ある(通算居住年数 年) ※1年未満は0年としてください ※今回の転入以前での古賀市に居住した期間を記載してください (居住期間 歳～ 歳の期間) 2. ない</p>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。